

第5章 システムの機能と構成

1. 全体構成と職業情報

(1) トップ画面

キャリアマトリックスのトップ画面を図表 5-1 に示す。このトップ画面から全ての機能へ導くようにされており、利用者はこの画面からシステム全体の構成が分かるようになっている。

画面中央の「利用者別メニュー」は、2008 年からリリースした機能である。キャリアマトリックスは順次、機能を拡張したため、利用者は学生・若者から企業の人事担当者、キャリアや教育の専門家等々、様々な人々となった。これに対応するためトップページに利用者別メニューとして「求職者・在職者」「生徒・学生・若者」「教育・キャリア相談担当」「企業の人事担当」を用意し、利用者がそこから入ることによって、自分に必要となる情報、自分に関連する機能が分かりやすく呈示されるようにした。例えば、「生徒・学生・若者」を選択すると、「はじめに」として職業選択のガイドなどの読み物があり、「職業の世界を知る」、「自分を理解する」等の導入部分があり、適職探索ナビ等に進める。利用する機能は同じものもあるが、それぞれの利用者に即したメニューとなっている。

利用者別メニューの下に「キャリアマトリックス・ツール」がある。キャリアマトリックスが提供している 8 つのツールを「職業理解」、「自己理解」、「人材管理」に分けて表示している。それぞれのツールの右側には主な利用者をアイコンで示している。「求職」は 4 つの利用者別メニューの「求職者、在職者」にあたり、「学生」は「生徒、学生、若者」、「専門」は「教育、キャリア相談担当」、「企業」は「企業の人事担当」に対応している。

画面左上には週替わりで職業を紹介する「職業スポットライト」がある。「職業スポットライト」では、様々な職業があることを知ってもらうために、今週の職業として写真と職業名を提示している。その下は「今週のテーマ」である。「職業スポットライト」で取り上げた職業のテーマ（「職業検索」の「テーマ検索」のテーマ）に属する他の職業を表示している。これも様々な職業があることに気付いてもらうための工夫である。その下にはサイト全体の目次として、「はじめに」の読み物、ツール、その他のサイトの機能、関連情報がある。

画面右側は上から「トピックス」、「アンケート」、「職業アクセスランキング」、「お知らせ」がある。「トピックス」は就職や転職、キャリア開発等に関する最近の話題、特に政府等の発表によるものを表示している。その下は利用者に回答してもらう簡単なアンケートであり、利用状況等を今後の運用や開発に生かす目的のものである。その下の「職業アクセスランキング」では、毎週アクセスされた職業を集計し、その前の週によく見られた職業をランキングで示している。トップ画面では上位 5 職業しか表示していないが、「more...」のボタンを押すと上位 50 位まで見ることができる。その下の「お知らせ」ではサイトの情報提供サービスに関して周知が必要な情報を表示している。

図表5-1 キャリアマトリックスのトップ画面

職業とキャリアに関する総合情報システム
CAREER MATRIX

サイトマップ | Q&A | お問い合わせ
提供: 独立行政法人 労働政策研究・研修機構

情報の力で、人と職業の最適な結びつきを支援します。

職業スポットライト



今週のご紹介
看護師

今週のテーマ
健康を守る
医薬品製造員、歯科医師、保健師、看護師、助産師、など

はじめに

- ▶ 職業について知る
- ▶ 職業選択のガイド

ツール

- ▶ 職業検索
- ▶ 職業ギャラリー
- ▶ ジョブタウン
- ▶ 適職探索ナビ
- ▶ キャリア分析ナビ(ベーシック版)
- ▶ キャリア分析ナビ(アドバンス版)
- ▶ 人材採用支援システム
- ▶ 人材活用シミュレーション
- ▶ マイリスト
- ▶ 職業レファレンスブック
- ▶ 相談窓口マップ検索

その他

- ▶ Q&A
- ▶ パンフレット、マニュアル
- ▶ 当サイトへのリンクについて
- ▶ サイトマップ
- ▶ お問い合わせ
- ▶ 利用規約

サイト内検索

関連情報

- ▶ 関連リンク
- ▶ 関連ツール
- ▶ 関連基礎知識

利用者別メニュー

求職者、在職者
の方はこちら

生徒、学生、若者
の方はこちら

教育、キャリア相談担当
の方はこちら

企業の人事担当
の方はこちら

キャリアマトリックスガイドツアー >>>スタート

キャリアマトリックスを使ってできることを操作の流れに従って説明します。

キャリアマトリックス・ツール

凡例: 求職 求職者、在職者向け 学生 生徒、学生、若者向け 専門 教育、キャリア相談担当者向け 企業 企業の人事担当者向け

職業理解

職業検索 求職 学生 専門 企業

職業名や職務内容から職業を検索し、職業についての詳細情報を表示します。

職業ギャラリー 求職 学生 専門 企業

キャリアマトリックスに収録されている職業の写真を一覧表示しています。写真を見て、気になる職業の情報を見ましょう。

ジョブタウン 求職 学生 専門 企業

ジョブタウンのイラスト地図を見ながら、気になる場所やそこで働く人々の職業について調べてみましょう。

自己理解

適職探索ナビ 求職 学生 専門 企業

「興味」や「ワークスタイル」などから、あなたに向けた職業を探します。

キャリア分析ナビ(ベーシック版) 求職 学生 専門 企業

これまでの履歴からあなたの「スキル」などを推定し、それに見合った職業やあなたのアピールポイントを見ることができます。

キャリア分析ナビ(アドバンス版) 求職 学生 専門 企業

これまでの履歴を「スキル」などへ分解・分析し、気になる職業との適合度を比較できます。

使い方にやや複雑な部分があります。最初にベーシック版で慣れたから、ご利用下さい。

人材管理

人材採用支援システム 求職 学生 専門 企業

キャリアマトリックスの約5000の職業情報を元に、職務要件(仕事内容、必要なスキルや知識、等々)を明確化します。

人材活用シミュレーション 求職 学生 専門 企業

社内の現状の人材と将来のあるべき姿を客観的に比較でき、人材の活用、教育訓練などの検討ができます。

マイリスト 求職 学生 専門 企業

上の様々なツールで職業をマイリストに記録し、それぞれの職業を見比べてみましょう。

トピックス

1. 「新卒緊急応援窓口」を開設/東京しごとセンター(東京都 3月10日)
2. 現金給与総額_前年比0.1%増/毎月勤労統計調査(厚労省 3月3日)
3. 1月の有効求人倍率0.46倍、5カ月連続で僅かに改善/一般職業紹介状況(厚労省 3月2日)

[more...](#)

アンケート

より良いサイトとするため、利用者アンケートを行っています。ご協力ください。

主な利用目的:

「選択してください」
年齢:
「選択してください」
性別:
 男性 女性

[>> 集計結果を見る](#)

職業アクセスランキング

1. 一般事務員
2. 経理事務員
3. データ入力係
4. 保育士
5. システムエンジニア(プロジェクトマネージャー)

[more...](#)

お知らせ

1. 携帯サイト「キャリアマトリックス・モバイル」提供(2009.4.27)
2. 若者向けコンテンツ充実(2009.3.2)

[more...](#)

■ [ミラーサイトのお知らせ](#) >>

■ [利用者の声](#) >>

※パンフレット、マニュアル、パンナー等のダウンロードは、左側に移動しました。

-78-

(2) 職業情報画面

職業の検索や各種診断テスト等の結果、利用者は職業情報の画面を見ることになる。職業情報は「どんな職業か」、「就くには」、「労働条件の特徴」、「職業プロフィール」、「参考情報」から構成されるが、このそれぞれについて以下説明する。

職業とキャリアに関する総合情報システム
CAREER MATRIX

労働政策研究・研修機構 [閉じる](#)
[トップ](#) | [メールで通知](#) | [マイリストに追加](#) | [マイリストを開く](#)

看護師 [A 専門的・技術的職業](#)
[L 09 保健師\(士\)、助産師、看護婦\(士\)](#)
[L 093 看護婦・看護士](#)

[| どんな職業か](#) | [就くには](#) | [労働条件の特徴](#) | [職業プロフィール](#) | [参考情報](#) | [印刷](#)

どんな職業か

▲▼ [トップ](#)

社会の様々な場所で、病気やけがの治療を受ける人々や介護を必要とする人々、体や心の健康上の様々な問題を抱えながら生活する人々を看護や診療の補助などを通じて支える。

病院・診療所などの医療施設では、患者への医療の提供に、医師・薬剤師・栄養士・臨床検査技師・理学療法士・作業療法士・医療ソーシャルワーカーなどの専門職種とともに医療チームの一員として参加する。現代医療には、救命救急医療・高度先進医療・リハビリテーション・生活習慣病の管理・精神医療・終末期医療など多様な側面があり、医師が診断・治療を行う際の補助の役割を求められることが多い。介護保険施設・社会福祉施設では、医療施設と比べて医師の関与が少ないため、看護師は日常的な医療管理や緊急時の判断を求められることが多い。訪問看護ステーションの看護師は患者宅を訪問してケアを行うほか、家族への支援も行う。学校や企業の健康管理部門では健康管理や心身の保健相談に応じている。

どのような領域にあっても、人々の食事や睡眠、排泄などの営みが、安楽に、またその人らしい尊厳を保ちながら行われるよう支援すること(療養上の世話)は、患者やその家族への心理的なサポートとともに、看護師の仕事の中でも重要な位置を占めている。現在これらの業務は科学的な根拠に基づいて人々に提供されている。またケアの受け手との間での確かなコミュニケーションを図る能力も求められている。

[>>この職業の用語集](#) [>>仕事の内容\(課業リスト\)](#)



類似職業
[>>助産師\(A092\)](#)
[>>保健師\(A091\)](#)

利用者ビュー(関連して多く見られている職業)
[>>保健師](#)
[>>助産師](#)
[>>薬剤師](#)

どんな職業か 職業の概要を説明し、実際の職場の写真とともに示している。この説明の中に出てくる用語に関して、必要なものは「この職業の用語集」として説明している。

「類似職業」はこの職業と類似した職業を表示しており、また、「利用者ビュー」では、この職業を見た人が併せて見ている職業を、利用者の行動の統計分析から表示している。

「看護師」の仕事内容(課業リスト)

1. 病院・診療所・社会福祉施設などにおいて、医師の診療を補助し、処置や看護をする。
2. 患者の診療記録や経過をカルテに記入し、整理する。
3. 患者の顔色や患部の様子を観察し、健康状態や症状をチェックする。
4. 患者の体温・脈拍・血圧を計測して、健康状態や症状をチェックする。
5. 医師の指示を受けて患者に薬の塗布、注射、吸入、吸引、点滴などの処置をする。
6. 患者に検査の指示を伝え、結果を確認する。
7. 患者に服薬の方法や注意事項の指導をする。
8. 入院患者を見回り、体温・血圧・脈拍を定時に測定し、変化があれば医師に知らせる。
9. 入院患者の服薬や食事・排泄の介助など日常の世話をする。
10. 寝たがりの入院患者の体位変換をする。
11. 診療に用いる医薬品の準備や補充など在庫を管理し記録する。
12. 病室や処置室の準備、器具・装置・備品の管理をする。
13. 手術室への患者の搬送や手術中の執刀医への器具の手渡しをする。
14. 病院や施設で、感染予防の措置を患者や外来者に指導する。
15. 地域や学校で、衛生管理・病氣予防・家庭看護などの相談に応じる。
16. 家庭看護の契約をしている患者を訪問し、所定の処置や健康のチェックをする。

就くには

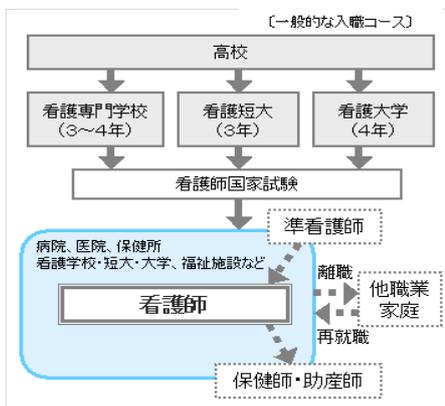
高校卒業後、大学・短大・専門学校で3年あるいは4年の専門教育を修めたのち、国家試験に合格することが必要である。

養成機関の入試倍率は年度や学校によってばらつきがあるが、大学で4～7倍程度、専門学校では2～4倍程度である。学校では、基礎・専門科目の講義の他に、療養上の世話や診療補助業務の実践能力を身につけるための技術教育が行われるが、あわせて医療施設だけでなく介護・福祉施設や訪問看護ステーションなどでの実習を経験する。

科学的な根拠に基づいて患者の状態を正確に観察・判断し、的確に対処できる理性和学識、人間の生命に直結した仕事ゆえの責任感や忍耐力が求められる。患者の心を支えるためにも、他者を理解し、受け入れる姿勢とコミュニケーション能力が重要であり、心身の健康も重要な要素となる。

学費は学校の種類(大学・短大か専門学校か)や設置主体(国・公立か私立か、医療機関・医療関係団体などの付属かどうか、など)によってかなり幅がある。各種の奨学金制度も利用できる。

看護師の免許を得た人は、さらに6ヶ月以上の専門教育を修めた上で保健師・助産師それぞれの国家試験受験資格を得ることができる。なお、大学では4年間で看護師課程と並行して保健師課程を学び、看護師国家試験とともに保健師国家試験の受験資格を得る。助産師課程は選択制としている大学が多い。



>>詳細チャートはこちら

関連資格

- 看護師
- 准看護師

仕事内容(課業リスト) 「どんな職業か」の画面で、仕事の内容(課業リスト)をクリックすると、この職業を課業に分解した課業リストが表示される。課業(task)は職務分析における専門用語であり、一般には分かりにくいいため「仕事の内容」、「仕事内容」とも表記している。

就くには その職業に就くための経路を示している。どのような学歴が必要で、どのような教育訓練を受け、また、必要な資格、関連する資格にどのようなものがあるか示している。就職経路を図解したのもも掲載している。

関連資格に関しては、クリックすると短い解説が表示される。

労働条件の特徴

▲▼トップ

医療や介護の現場では1日24時間、1年365日を通じてのケアの提供が求められており、これに応えるための勤務形態がとられている。交替制の勤務は、1日24時間を2ないし3のシフトからなるローテーション勤務でカバーする。たとえば病院の入院部門で3交替制で勤務する1人の看護師の1週間は、1回8時間労働の昼間の勤務(日勤)を3回と、夕方から真夜中にかけての8時間労働の夜勤(準夜勤)を1回、真夜中から朝までの8時間労働の夜勤(深夜勤)を1回の、計5回の勤務からなる。土曜・日曜・祝祭日も交替で出勤するため、これらの日が必ずしも休日にならないこともある。夜間の対応体制は働く場の特徴に応じて様々であり、看護師の勤務も、夜間は緊急時の呼び出しに応じる待機体制をとるもの、利用者からの電話対応のみのもの、夜間対応を要しないものなどがある。

看護師就業者は約70万人(平成13年末・厚生労働省推計)で、男性の比率は5%程度である。夜勤がある職場では夜勤回数に応じて夜勤手当が付加されるため、同年代の女性労働者と比較して給与水準は高い傾向がある。

看護師は資格職種であり、個々のライフステージに応じて働き方や働く場を選べるから働き続けることが可能だとされている。しかし、かつては「売り手市場」といわれた看護師も、現在では必ずしも希望の職場に就職できるとは限らない状況にある。

統計情報の概要

就業人数(計)=976214人
国勢調査<看護師>より

労働時間(平均)=170時間/月

賃金(平均)=465.2万円/年

年齢(平均)=36.2歳

賃金センサス<看護師>より

[>もっと詳しくはこちら](#)

労働条件の特徴 — 統計情報

- 看護師 国勢調査
- 看護師 賃金センサス

1.概要

就業人数(計)=1106795人	国勢調査<看護師>より※
労働時間(平均)=170時間/月	
所定内実労働時間(平均)=162時間/月 超過労働時間(平均)=8時間/月	
賃金(平均)=465.2万円/年	
所定内給与額(平均)=28.26万円/月 超過労働支給額(平均)=3.5万円/月 年間賞与その他特別給与額(平均)=84.08万円/年	
年齢(平均)=36.2歳	賃金センサス<看護師>より※

※ご注意 このシステムでは統計情報として、国勢調査(2005年版)と賃金センサス(2006年版)を使用しておりますが、これらの統計上の職業はシステムに収録されている職業の分類とは必ずしも一致しておりません。統計までできるだけ近い職業のものを掲載するべく留意しておりますが、収録職業そのものの統計ではないことをあらかじめご了承ください。

2.年齢階級別就業人数—国勢調査<看護師>

年齢(歳)	就業人数(人)
15~19歳	1568
20~24	107562
25~29	171805
30~34	158604
35~39	151821
40~44	152788
45~49	136228
50~54	111693
55~59	75307
60~64	24551
65~69	9593
70~74	3267
75~79	1657
80~84	272
85歳以上	79

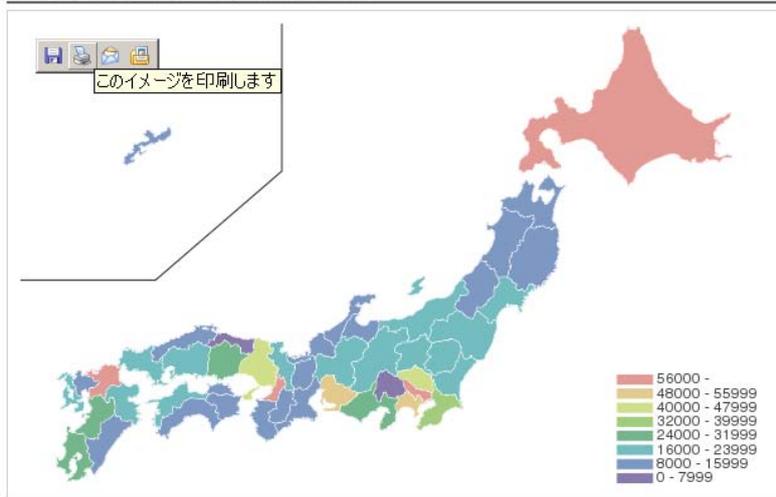
労働条件の特徴 労働時間、賃金等の労働条件とともに、その職業の就業人数やその職業の平均年齢等も示している。就業人数は国勢調査に基づくものであり、賃金や労働時間は賃金構造基本調査(賃金センサス)に基づくものである。

ここに示した看護師に関しては、国勢調査にも賃金センサスにも看護師としての統計があるため、その職業の統計を示せるが、他の職業では国勢調査・賃金センサスの職業と一対一に対応していない場合もある。その場合は、その職業が含まれる最小の職業分類での情報を示している。

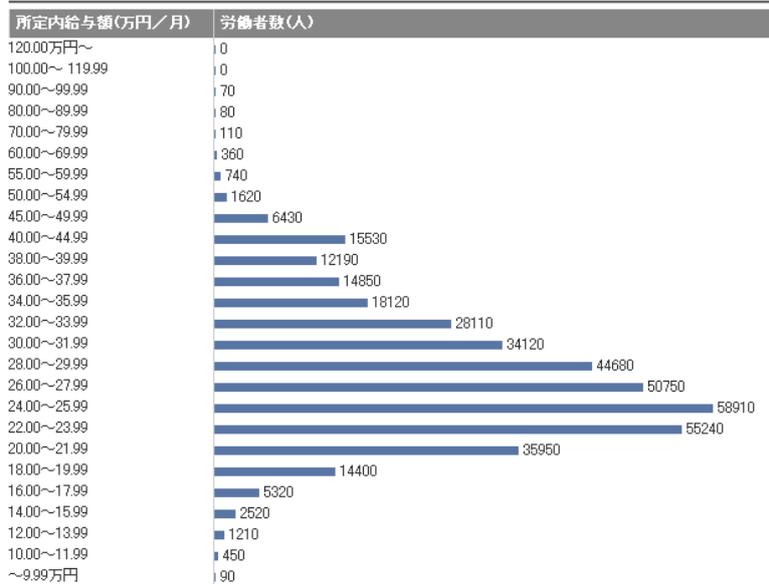
「もっと詳しくはこちら」をクリックすると、更に詳しい統計を見ることができる。

1.概要で就業人数、賃金、労働時間、年齢について統計情報をまとめて表示し、2.年齢階級別の就業人数、3.都道府県別就業人数、4.所定内給与階級別労働者数、5.産業別就業人数を示している。

3.都道府県別就業者数－国勢調査<看護師>

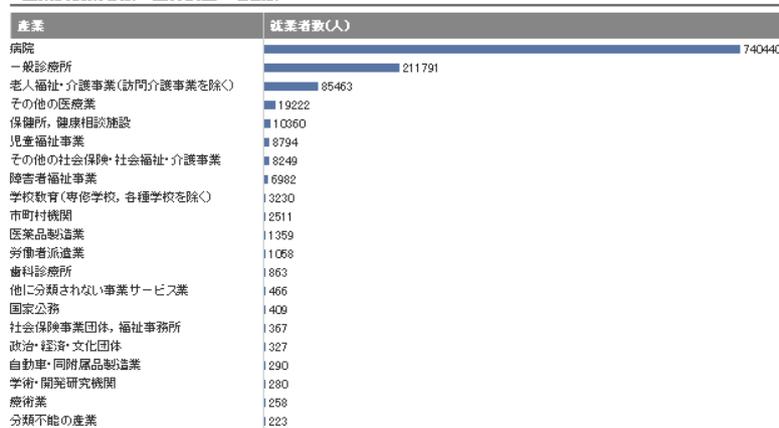


4.所定内給与階級別労働者数－賃金センサス<看護師>



左の産業別就業者数はさらに下に続くが、ここでは省略している。

5.産業別就業者数－国勢調査<看護師>



職業プロフィール ▲▼トップ

職業プロフィールとは、その職業に関する様々な特性を数値化したものです。ここでは「興味」「ワークスタイル」等の各カテゴリー毎に、数値が高い上位3項目を表示しています。

1.興味について

この職業に特徴的な「興味」は、以下のものがあります。

▶▶興味領域とは？

社会的(S) ★★★★★

人と接したり、人に奉仕したりする仕事や活動が好きなおこと。

▶▶専門家向け情報▶▶

2.ワークスタイルについて

この職業に特徴的な「ワークスタイル」は、以下のものがあります。

▶▶ワークスタイルとは？

成長 ★★★★★

他の職業に比べ、新しいことが学べ、仕事を通じて成長できる仕事であること。

人間関係 ★★★★★

他の職業に比べ、人に喜んでもらえる、あるいは同僚等と和気あいあい働ける仕事であること。

社会的認知 ★★★★★

他の職業に比べ、人から認められたり、社会的な認知度が高い仕事であること。

▶▶専門家向け情報▶▶

3.職業スキル(研修や経験を通して時間をかけて育まれる能力)について

この職業を遂行する上で重要と思われる「職業スキル」は、以下のものがあります。

話す ★★★★★

口頭で的確に情報を伝えること。

他者との協調 ★★★★★

他者の行動に合わせて行動すること。

読む ★★★★★

仕事に必要な文書を理解すること。

▶▶専門家向け情報▶▶

4.知識について

この職業を遂行する上で重要と思われる「知識」は、以下のものがあります。

医学・歯学 ★★★★★

人間の傷害、病気、障害等を診断し治療するのに必要な情報と技法についての知識。この知識は、診断、治療方法、医薬品の特性と相互作用、予防方法が含まれる。

セラピーとカウンセリング ★★★★★

心身の疾患の診断、治療、リハビリ、ならびにキャリアカウンセリングと指導のための原理、方法および手順についての知識。

心理学 ★★★★★

人間の行動とパフォーマンス、能力、性格、関心における個人差、学習と動機付け、心理学的調査の方法、行動障害と情動障害の査定と治療についての知識。

▶▶専門家向け情報▶▶

5.仕事環境(作業環境、人とのかかわり方、仕事の影響度、等)について

この職業に特徴的な「仕事環境」は、以下のものがあります。

屋内作業 ★★★★★

職務において、屋内で働くこと。

厳密さ、正確さ ★★★★★

きわめて厳密、正確に職務を遂行することの重要性。

他者とのかかわり ★★★★★

職務を遂行するために、他の人と接触(電話、対面、その他の方法で)する程度。

▶▶専門家向け情報▶▶

職業とキャリアに関する総合情報システム
CAREER MATRIX

労働政策研究・研修機構 閉じる

トップへ | メールで通知 | マイリストに追加 | マイリストを開く

看護師

A 専門的・技術的職業
↳ 09 保健師(士)、助産師、看護師(士)
↳ 093 看護師・看護士

<<前に戻る | どの職業か | 就く日は | 労働条件の特徴 | 職業プロフィール | 参考情報 | 印刷

職業プロフィール【興味】	グラフを表示	詳細情報を表示	並び替え: 番号順	重要度順	
	低			高	
1.現実的(R)	1	2	3	4	5
2.研究的(I)	1	2	3	4	5
3.芸術的(A)	1	2	3	4	5
4.社会的(S)	1	2	3	4	5
5.企業的(E)	1	2	3	4	5
6.慣習的(C)	1	2	3	4	5

職業プロフィール 職業の特徴を数値化したものである。興味、ワークスタイル、職業スキル、知識、仕事環境に関して、それぞれ上位3つまでをその職業を特徴づけるものとして表示している。各職業、興味は6項目、ワークスタイルは6項目、職業スキルは35項目、知識は33項目、仕事環境は14項目、全体で94項目の職業プロフィール数値を有しているが、すべてを出すとそれだけでかなりの画面を占めてしまうため上位3つまでとした。

職業プロフィール詳細画面 (専門家向け情報) 職業情報の最初の画面では、「職業プロフィール」は上位3項目しか表示していないが、「専門家向け情報」をクリックすると、左のようにすべての数値情報をみることができる。

	低					高
1.読む	1	2	3	4	5	
2.聞く	1	2	3	4	5	
3.書く	1	2	3	4	5	
4.話す	1	2	3	4	5	
5.数学	1	2	3	4	5	
6.科学	1	2	3	4	5	
7.論理と分析	1	2	3	4	5	
8.積極的学習	1	2	3	4	5	
9.学習戦略	1	2	3	4	5	
10.モニタリング	1	2	3	4	5	
11.問題解決	1	2	3	4	5	
12.他者理解	1	2	3	4	5	
13.他者との協調	1	2	3	4	5	
14.説得	1	2	3	4	5	
15.ネゴシエーション	1	2	3	4	5	
16.インストラクション	1	2	3	4	5	
17.サービス志向	1	2	3	4	5	
18.要件分析	1	2	3	4	5	
19.技術開発	1	2	3	4	5	
20.道具、機材、設備の選択	1	2	3	4	5	
21.据付けやインストール	1	2	3	4	5	
22.プログラミング	1	2	3	4	5	
23.計器監視	1	2	3	4	5	
24.オペレーションとコントロール	1	2	3	4	5	
25.メンテナンス	1	2	3	4	5	
26.トラブルシューティング	1	2	3	4	5	
27.機械やシステムの修理	1	2	3	4	5	
28.品質管理	1	2	3	4	5	
29.意思決定	1	2	3	4	5	
30.システム分析	1	2	3	4	5	
31.システム評価	1	2	3	4	5	
32.時間管理	1	2	3	4	5	
33.資金管理	1	2	3	4	5	
34.資材管理	1	2	3	4	5	
35.人材管理	1	2	3	4	5	

[トップ](#) [このページを印刷](#) [閉じる](#)

参考情報 [▲▼](#) [トップ](#)

この職業について参考情報を見る

- | | |
|--|---|
| <p>■ 類似職業</p> <ul style="list-style-type: none"> >> 助産師(A092) >> 保健師(A091) | <p>■ 関連資格</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護師 准看護師 |
|--|---|

より詳しい職業情報を収集する

必要な資格を調べる、学校や求人を探す、仕事の内容をより詳しく知る、などなど

1. 関連団体のWEBサイト - 関連団体のWEBサイトで色々と調べることができます。
 - >> [厚生労働省医政局看護課](http://www.mhlw.go.jp/) (<http://www.mhlw.go.jp/>)
 - >> [社団法人 日本看護協会](http://www.nurse.or.jp/) (<http://www.nurse.or.jp/>)

2. 求人を探す(ハローワーク・インターネットサービス)

ここでは全国のハローワークで受理した実際の求人情報を検索することができます。

また、そのほかの様々なサービスも紹介しています。



参考情報 この職業に関連する情報を整理している。「類似職業」、「関連資格」はこれまでの画面でも出ていたものであるが、ここでまとめることにより参考情報の検索へと職業世界の広がりへの促進が期待された。さらに、この職業に関連する情報を調べることができる職業団体等のサイトを示すことにより、詳細な職業情報へのアクセスを容易にしている。またハローワークインターネットサービスで実際の求人を見られるように案内し、求職活動との連携と利便を図った。

以上のようにシステムに搭載している約 500 の職業の全てについて、「どんな職業か」、「就くには」、「労働条件の特徴」、「職業プロフィール」、「参考情報」を掲載している。本システムのように多様な情報を、職業世界を網羅する多くの職業に関して提供する例は他にはない。

職業情報に 2008 年から新たに加わったものとして、課業(task)リストがある。課業とは、その職業における具体的な仕事の内容のことであり、たとえば看護師では「病院・診療所・社会福祉施設などにおいて、医師の診療を補助し、処置や看護をする」「患者の診療記録や経過をカルテに記入し、整理する」「患者の顔色や患部の様子を観察し、健康状態や症状をチェックする」等、20 の課業が表示される。

課業は人事考課や賃金体系の基本情報の一つであり、キャリア開発においても必要となる情報である。また課業リストは企業が求人票を作成する際の仕事内容の記述や、求職者が職務経歴書を記載する際の参考となる。

日本において職業全般に渡る課業リストが提供されたことはこれまでない。先に紹介した 331 万名近くの Web モニターを対象とした、「Web 職務分析システム」での調査によって、初めて情報収集が可能となり提供できたものである。

(3) データ構造

職業情報の画面は以上の通りであるが、これらの情報はシステム内では図表 5-2 のような構造となっている。この中で特徴的なのが、スキル、知識、興味、ワークスタイル、仕事環境の計 94 項目の数値情報であり職業横断の数値基準ともいえるものである。この数値は Web 職務分析システムによって収集した実際の就業者の回答を平均したものであるが、これによって職業を統一項目により数値化することができ、職業と職業の相対的關係を見ることができる。また、この数値を使って、「適職探索ナビ」、「キャリア分析ナビ」が開発された。開発段階での目標や方針として、「米国 O*NET のように、職業毎に仕事内容、特徴、必要とされるスキル、能力、経験、就業実態、労働条件、労働力需給、従事者の特性等をデータベース化する」、「今後増加すると考えられる職種を超えた労働移動を検討できるよう、職業間の類似性に着目し横断的に検索できるようにする」があったが、これを実現しているのがこの数値情報である。

図表5-2 職業情報のデータ構造

約 500 職業									
約 5 万の数值情報 (500 職業 × 100 項目)									
職業名 職業分類	解説 写真	課業 リスト	スキル 35 数值	知識 33 数值	興味 6 数值	ワーク スタイル 6 数值	仕事 環境 14 数值	統計 情報	関連 情報
看護師 A093(厚生労働省編職業分類) 類似職業 助産師 保健師 関連資格	各職業約 2千文字 ■どんな 職業か ■就くには ■労働条件の特徴 ■写真 	1. 病院・診療所・社会福祉施設などにおいて、医師の診療を補助し、処置や看護をする。 以下、課業が仕事の順番に並び、最後に付加的課業が並ぶ。 各職業 10～15 課業	読む:4 サービス志向:4 インストラクション:4 他者との協調:4 他者理解:4 以下 30の数值	医学・歯学:5 セラピーとカウンセリング:4 心理学:4 生物学:4 自国語:4 以下 28の数值	現実的 R:3 研究的 I:3 芸術的 A:3 社会的 S:5 企業的 E:3 慣習的 C:3	達成感:4 成長:4 社会的認知:4 人間関係:4 自律性:4 労働条件:3	他者とのかわり:5 厳密さ、正確さ:5 ミスの影響度:5 屋内作業:5 結果および成果への責任:4 以下 9の数值	就業者数(国勢調査より) 労働時間、賃金平均年齢(賃金センサスより)	関連団体 Web サイト アドレス

2. 職業理解

(1) 職業解説

職業情報は、情報技術やコンピュータの進歩により、文章で記述された職業解説のほかにも写真、映像ビデオ（動画と音声）、イラスト・チャート、関連統計データなどが提供されるようになっており、これらにより職業理解が多面的に支援される。しかしながら、文章による職業解説の重要性は、職業を的確に表現し、全体としてのイメージや必要な情報を簡便に提供するために、低下することはない。

職業解説の作成に当たっては、開発目的や利用対象を踏まえて、章立て（情報項目）、文字数、文体・表現などの設定が重要である。職業毎にまちまちでバラバラな内容の解説では、多くの職業を収録する体系的な職業情報では役に立たないといえる。

こうした要件をふまえて、「職業ハンドブック」「職業ハンドブック OHBY」「キャリアマトリックス」の職業情報は以下の構成や内容となっている。

1) 「職業ハンドブック」の職業解説

2002年版の「職業ハンドブック」（冊子）では、利用対象を大学生以上とし、冊子版であ

るためかなり詳しい解説を掲載している。職業解説全体を約 4,000 字で記述している。収録職業は 300 で、各職業解説に写真 1 点を掲載している。また、パソコンで使用する「職業ハンドブック CD-ROM 検索システム」では、職業解説に対して写真・イラストを 4 点掲載している。それに加えて、職業分類をチャート化した「職業パノラマ」や適性・興味特性などによる職業検索も可能としている。いずれも解説項目は次のとおりである。

- ・ 仕事の内容（どんな職業か）
- ・ 従事者の特徴（この職業に就いている人たち）
- ・ 就くための訓練、資格など（この職業に就くには）
- ・ 将来の展望（この職業の歩みと展望）
- ・ 労働条件（労働条件の特徴）
- ・ 問い合わせ先

2) 「職業ハンドブック OHBY」の職業解説

「職業ハンドブック OHBY」は、主な利用対象を中学生・高校生とし、パソコンで使用する CD-ROM のみで提供している。このため、職業解説全体を約 1,600 字とし、文章を短くするとともに、文体は専門用語を避けて分かりやすく記述している。収録職業は 430 である。また、上記の「職業パノラマ」や「ジョブタウン探検」などの探索システム、さらに簡易の心理テストを搭載し、テストによる自己理解と職業情報による職業理解との連携を実現した。解説項目は次のとおりである。

- ・ どんな職業（仕事の内容）
- ・ なるには（仕事に就くには）
- ・ もっと知りたい（どんなところで働くか、労働時間などの労働条件）

このほかに、職業情報として、写真 4 点、イラスト 2 点が掲載されている。

また、一部の職業については、実際にその職業についている人たちからのインタビュー記事（なるほど）を掲載している。

このように 職業ハンドブック OHBY は、職業情報のコンテンツ構成を中学・高校生という対象に沿って最適化し、充実させたものとなっている。

図表 5-3 職業ハンドブック OHBY の職業情報

どんな職業？

基本的な仕事の内容について、わかりやすく説明します。

職業情報
看護師

[一覧に戻る](#)
[全部印刷](#)
[戻る](#)
[登録](#)
[印刷](#)
[戻る](#)
[メニュー](#)
[終了](#)

どんな職業？
[写真で見よう！](#)
[なるには？](#)
[もっと知りたい](#)
[類似職業は？](#)
[先輩に聞く](#)

●医療の現場で患者さんを支え、医師を助けます

病気やけがによって、身体的にも精神的にも不安なとき、看護師の適切な処置やあたたかい対応に励まされることがあります。看護師の仕事は、患者の病状や健康状態に応じて苦痛を少しでも和らげ、また、病気や障害のために自由にならない患者の生活や行動を専門的な判断力と技術を用いて援助することです。看護師は、病院や社会福祉施設、訪問看護ステーションなど、いろいろな場所で活躍しています。

●ひとり一人の患者の病状を把握しています

病院などでは、看護師長や主任を中心に看護チームをつくり、患者ひとり一人の看護計画を立てて、それに基づいて看護を行っています。入院患者の病状の変化を常に見守り、わずかな実調の兆候も見逃さずに対応します。医師が患者の診察・治療を行う際、医師の補助も行います。外来では、おもに患者が医師の診断を受ける際の介助をしますが、療養生活についての相談にのったり、指導したりする役割も重要です。

[別名：ナース、看護婦・看護士]

枝分かれ職業

[准看護師](#)

[訪問看護師](#)

写真で見よう！

仕事の場面を イラストと写真で紹介します。

職業情報
看護師

[一覧に戻る](#)
[全部印刷](#)
[戻る](#)
[登録](#)
[印刷](#)
[戻る](#)
[メニュー](#)
[終了](#)

どんな職業？
[写真で見よう！](#)
[なるには？](#)
[もっと知りたい](#)
[類似職業は？](#)
[先輩に聞く](#)

各画面をクリックすると拡大して見ることができます。

[動画をみる](#)













なるには？

職業につくための一般的なコースについて文章やチャートで解説しています。

職業情報
一覧に戻る 全部印刷
登録 印刷 戻る メインメニュー 終了

どんな職業？
写真で見よう！
なるには？
もっと知りたい
類似職業は？
先輩に聞く

- 看護師になるには、高校卒業後、看護学校・短大・大学で看護学などを学び、国家試験に合格することが必要です。
- 病院付属の看護学校では、学費を低く抑え奨学金も普及しているため、学生の経済的負担が少ないところが多いです。
- 求められる特性や能力は、患者の病状を正確に観察・判断・対処できる理性と学識、人間の生命に直結した仕事ゆえの責任感や忍耐力です。
- 患者の心を支えるためにも、他人を理解し、受け入れる姿勢とコミュニケーション力が重要です。もちろん、体力と健康も必要となります。

問合せ先
関連資格

※この図は一般的なコースを示しています。

もっと知りたい

職場の環境や休日など、労働条件について詳しく解説しています。

職業情報
一覧に戻る 全部印刷
登録 印刷 戻る メインメニュー 終了

どんな職業？
写真で見よう！
なるには？
もっと知りたい
類似職業は？
先輩に聞く

- 労働時間は？
病院や施設により2交代制（日勤と夜勤）や3交代制などの24時間体制がとられています。そのため、夜間や土・日の勤務はひんぱんにあります。深夜の出・通勤が多いため、病院に看護師宿舎や寮があるところが多いです。診療所や保健所、市町村（訪問看護）に勤務する場合、夜勤はほとんどありません。
- 男性の進出は？
男性は年々増える傾向にあり、精神科、手術室、集中治療室などへの進出が目立っています。
- 再就職は？
看護師は確立した資格を持っているため、いったん仕事を辞めた場合でも再就職がしやすい職業と言えます。
- 最近の傾向は？
近年は、患者の高年齢化ともなった老人医学や老人看護も注目され、患者の自宅を訪ねる訪問看護や、特別看護ホーム・老人保健施設・ケアつき有料老人ホームなど活躍の場も広がっています。
- 看護師の名称は？
法改正により、「看護婦・看護士」から「看護師」へ名称が変わりました（2002年3月）。

先輩に聞く

在職者に仕事のやりがいや苦勞する点を取材しています。

職業情報 **看護師** 一覧に戻る 全部印刷 ◀ ▶ 登録 印刷 戻る メインメニュー 終了

どんな職業? 写真で見よう! なるには? もっと知りたい 類似職業は? 先輩に聞く

安井 大輔さん
S国際病院(東京都)
大学卒 入職1年

●重度の患者さんを看護しています
現在は、集中治療室勤務。普段の看護業務と違う点は、重度の患者が多いことです。患者の体を清潔にしたり、医師の指示で点滴をしたり、脈拍や心電図が組み込まれた機械のモニタリングが主です。

●看護学校を卒業して国家試験に合格すればなれます
「人の役に立てる」職業を探していたところ、男性もなれると知って看護大学に入りました。全国の正・准看護師の中で、男性看護師は3.3%を占めています。現在の学生(大学)では7.8%が男性です。
医学は理数系という観念がありますが、看護師はまじめに日常の勉強をこなせば、誰でもなれます。やりがいのある職業です。

●毎日が勉強です
看護現場では、学校で勉強したことと違う状況が毎日のように起こります。知識も経験も少ないので、困惑することが多いです。一般病棟と違って、1日実働10時間以上と勤務時間は長いのですが、病気を治すために入院する患者さんの期待に応えたいし、回復して退院されると本当にうれしいものです。

3) キャリアマトリックスの職業解説

キャリアマトリックスでは、主な利用対象を大学生以上とし、約500職業について、基本的な職業解説が「どんな職業か」(職務の内容)、「就くには」(参入条件等)、「労働条件の特徴」の3章構成、約2,500字で記述されている。さらに関連の情報や数値や統計(図表)を掲載することにより、職業理解の促進と深化を図っている。

「どんな職業か」(職務の内容)では、主要な仕事内容を中心に簡潔に解説している。専門用語については、「この職業の用語集」として別ウインドウを開く形で提供しており、2008年からは、課業情報についても同様の形式で提供した。「就くには」(参入条件等)では、この職業に就くために必要な要件や資格などを解説し、標準的なコースをチャートで提示している。「労働条件の特徴」では、労働条件、就業状況、雇用の見通しなどを解説するとともに統計情報として、その職業に関する国勢調査の就業者数、賃金データなどを図表でも提供している。

「職業プロフィール」では、職業興味、ライフスタイル、職務特性など、その職業の主要な特性を表示している。これは本システムの評価・診断システムのデータを援用したものであり、テストの診断結果とのマッチングがチェックできる。

「参考情報」では、職業理解や職業の選択肢を広げる関連職業、関連資格情報が表示され、職業の動画情報が豊富に見られる「私のしごと館のJOBJOBワールド」⁹求人情報が参照でき

⁹ 「私のしごと館のJOBJOBワールド」については、2010年3月の提供終了に伴い、リンクを終了した。

る「ハローワーク・インターネットサービス」や、さらに詳細な情報入手に役立つ関連の協会・団体の Web サイトが表示され、それらとリンクしている。印刷物では、関連の協会・団体の所在地や電話などの情報のみの提示であったが、インターネットにより外部の種々のサイトに直接リンクが可能となったことから、より詳細で最新の職業情報が入手できるようになった。

また職業解説には、職業に対するイメージ形成に役立てるため、その仕事内容や場面に関する写真を 1 点掲載した。

(2) 職業ギャラリー

「職業ギャラリー」は、キャリアマトリックスの職業情報として掲載されている写真を職業分類にそって配列した検索システムである。職業のイメージや記憶はあるが、職業名が思い出せない、分からないことが利用者（特に中学生や高校生）には少なくない。このような場合に、写真という映像から探したい職業を見つける検索メニューとして 2008 年から提供を開始したものである。

写真などの映像による職業の認知は記憶にある種々様々な職業を想起させることができ、関心のある、あるいは求める職業の情報に到達することができる。

検索システムとしての利用以外にも、生徒に写真映像から仕事の内容を説明するよう指導したり、知っているとか好きな職業というカテゴリーで職業グループを構成することにより職業への志向性をチェックするなど、キャリア教育において様々な利用が可能なものとなっている。

図表 5-4 職業ギャラリー

	モノづくりの職業
	建設の職業
	オフィスの職業
	販売の職業
	専門・企業サービスの職業
	個人サービスの職業
	福祉・公務の職業
	医療・保健の職業
	教育・研究の職業
	運輸の職業
	マスコミ・デザイン・芸術の職業
マスコミ・芸能	
	
デザイン・広告	
	
芸術・工業	
	
	自然・動植物の職業

(3) 職業理解 ジョブタウン

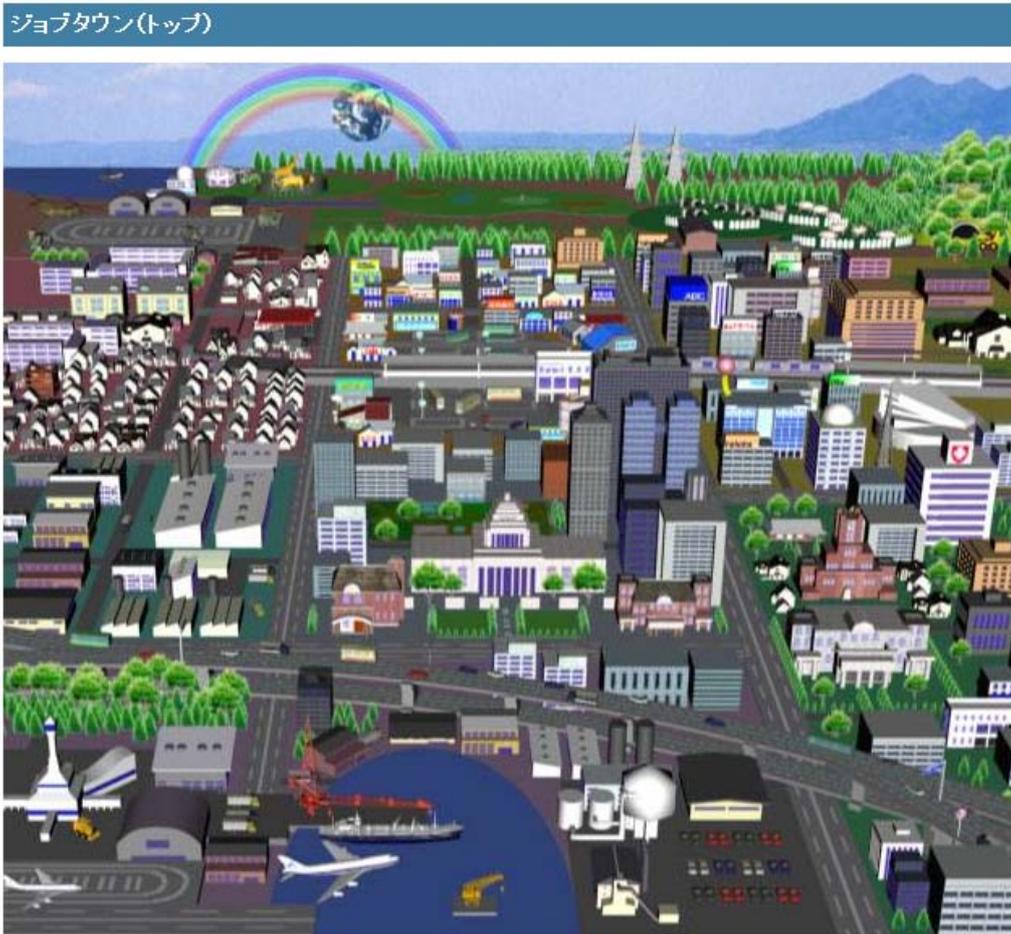
キャリアマトリックスは、高校生以上大学生・一般成人を対象層としたため、2006年版のモニタリングにおいては、高校や若年対象相談機関のキャリアガイダンス関係者からは、中学・高校生版職業ハンドブック **OHBY** (2002年) に比して「文章が多く、やや難しい」、「OHBYの『写真で見よう』(イラスト2点、写真4点) なみに写真・イラストを多くできないか」との声が多く聞かれた。公開後も、大学関係を含む多くの関係者から、キャリアマトリックスには、若年層向けのインターフェース・ツールとして OHBY システムの『ジョブタウン』や『写真で見よう』などの要素をキャリアマトリックスに導入してほしい旨の希望が出された。

OHBY のジョブタウンはオフィス街・商業地・工業地域などの9ゾーンについて企業・公的施設・商店・工場など各種職業の就業場所である建物をイラストマップで示し、そこから職業を探索するツールであり日常的体験から職業にたどりつける(図表 5-5)。その過程を通じて産業・職場・職業の関係や各種職業の関連・協働のありさまなどを理解することができる。多様な職業になじみのない中学・高校生にとっては比較的とりつきやすいインターフェースとしてその仕事体験・インターンシップの準備や、学力の高い小学生の仕事調べなどに簡便で効果的と評価されている。

このため、2008年の新キャリアマトリックスにおいては、OHBY のジョブタウンを検索サブシステム機能の一つとして特に画面等を変更することなく導入し、商業地など特性ある地域ブロックと職業の関係を示すこととした(図表 5-6)。ただし OHBY の特徴の一つであった『写真で見よう』の写真やイラストの掲載は画面容量やイラスト著作権の関係から困難であり、将来の課題として実現は見送られた。

職業の図版は、職業を直感的に理解しイメージを形成するうえで有効であるが、写真は、知的労働・危険作業・企業秘密など撮影や内容表現が難しい職種があったり、被写体の肖像権処理や撮影コストに問題があることから、OHBY ではイラストを活用してその欠点を補ってきた。この点についてはキャリアマトリックスでは実現されておらず、イラストの活用の可能性は将来の検討事項とされた。

図表 5-5 キャリアマトリックスのジョブタウン



図表 5-6 OHBY における商業エリア及び不動産鑑定士の写真・イラストによる解説

(1) 商業エリア (駅前の商業・各種サービス施設等)



(2) 不動産鑑定士 (写真とイラストで諸職務を紹介)



3. 自己理解

利用者が自己分析の結果を手がかりに職業理解および職業情報へのアクセスをスムーズに行うことを支援するねらいをもって作成されたのが、「自己理解」の下に用意されたサブプログラム群（適職探索ナビ、キャリア分析ナビ（ベーシック版、アドバンス版）である。職業情報へのアクセスや職業探索を行う場合、目指す職業名が明確な場合や目指す職業の特徴の一部が分かっている場合は、基本的にキーワード検索や職業分類コード検索など検索ツールを活用すればよい。しかし、初めて職業の世界に入っていこうとしている者や経験した職業とは違う職業について探索しようとする者にとっては、なにを手がかりに、幅広い職業の世界のどの入り口から入っていけばよいか分からない。また職業探索は、利用者のモチベーションを維持しつつ効果的に行われる必要があるが、このためには、利用者が自ら自己の特徴を整理して得られた結果を1つの手がかりとして職業探索することが有効であることがOHBYの研究開発の中で確かめられていた。そこでこれらに対応するため、自己を分析し得られた結果を基に職業検索をすすめていけるようなツールとして、上記サブプログラム群が用意された。

「自己理解」は主に職業選択、進路選択あるいは進路設計のために職業探索を必要としている個人の利用者として想定し、自己分析・自己理解から職業理解への流れを支援するためのいくつかの自己実施式のツール（診断テストの実施および表示された診断テストの結果解釈・活用を基本的に利用者自身が行うツール）で構成されている。

「自己理解」の内容構成は、大きくは、「適職探索ナビ」と「キャリア分析ナビ」とに分かれる。

前者は、在学学生、新規学卒就職者、若年求職者などを主なターゲットにしているのに対して、後者は、転職を検討している一定の就業経験を持つ求職者・在職求職者などを主なターゲットとしている。

「適職探索ナビ」は、利用者が、自分の個性を分析するためのツールで構成される。利用者は、職業興味、ワークスタイルおよびスキルに関する質問項目に回答する。それらの回答が自動的に採点され、個人の職業興味、ワークスタイルあるいはスキルのプロフィールが得られ、最終的にそれらのプロフィールと関連の深い職業リストが示される。この職業リストを手掛かりに利用者は、職業興味、ワークスタイルおよびスキルを入り口として、幅広い職業の世界の探索を始めることができる。また職業興味、ワークスタイルおよびスキルをクロスさせて総合的に適職を検討することができるプログラムも用意されている。これらのプログラム群を「適職探索ナビ」と呼んでいる。

「キャリア分析ナビ」は、利用者が、自からの職業経歴から、その職業的資産を生かせそのような職業を探索することを支援するツールで構成される。利用者は、まず、それまでの職業経歴をキャリアマトリックスの登録職業名の形で入力することが求められる。入力された経験職業名は、キャリアマトリックスの職業データベースを参照しながら知識、スキル、仕事

環境の数値情報に変換され数的に処理される。次に経験職業の数値データとキャリアマトリックスの職業データベースの中にある全ての職業の数値データの類似性が計算され、職業経歴を生かせそうな職業リストが提示される。このようにして経験職業の中で培われた知識やスキル等を手がかりに、それらの資産活用と関連ある職業を探し出す。これらのプログラム群を「キャリア分析ナビ」と呼んでいる。

実際の画面遷移を辿りながら、それぞれの考え方についてももう少し詳しく説明する。

(1) 適職探索ナビ

「適職探索ナビ」は、副題に「やりたいこと、できることから職業探し」とあるように、興味、ワークスタイルやスキルの自己分析を通して、キャリアマトリックスの総合的な職業情報へのアクセスを切り開こうとする。そのために用意されたサブプログラムは次の4つである。

- ① 興味から職業を探す、②ワークスタイルから職業を探す、③スキルから職業を探す、④総合的に職業を探す。

図表 5-7 「探索方法の選択」画面



利用者は、図表 5-7 のような選択画面で、「探索方法」を選択する。なお、④の「総合的に職業を探す」は基本的に①から③を実施していることを前提としているが、このシステムが枠組みとしている興味やワークスタイルなどの定義やカテゴリーが十分に理解できていれば直接利用することもできるようになっている。また、①と②には診断テストが付随している。

興味を例に、プログラムがどのように進行するのかを解説する。

図表 5-7 の画面から、①興味から職業を探す、を選ぶと、次に続くプログラムの実施の結果、どのような情報が得られるのか、というガイドが表示される（図表 5-8）。

図表 5-8 「興味診断テスト（ガイド）」画面



さらに、画面下の「診断する」ボタンをクリックして進むと、興味の診断テストの項目が示される（図表 5-9）。テストの項目は、例えば「工事現場で、ブルドーザーやクレーンを運転する」など仕事内容の記述で、これらに対して、「やりたい—どちらかというとやりたい—どちらともいえない—どちらかというとやりたくない—やりたくない」の5段階で回答する。回答は、該当するラジオボタンをクリックすることで行う。54項目全部に回答し、「次に進む」をクリックすると、図表 5-10 のような興味のプロフィールが表示される。

興味のプロフィールは、ホルランドの6つのタイプ（R:現実的、I:研究的、A:芸術的、S:社会的、E:企業的、C:慣習的）との類似性の大きさを示され、プロフィールの棒グラフが長いほど類似性が大きい事を示している。利用者はまず、自分の職業興味がどのタイプに最も近いかなどを知ることができる。次に、興味のタイプと相性の良い職業の探索に移る。

このプログラムのメインの機能は、興味の診断テストと職業情報との結びつけである。これは、キャリアマトリックスデータベースの各職業の興味特性データに基づいた職業リストを基に行う。すなわち、「興味診断テスト(結果)」画面（図表 5-10）下の「次に進む」をクリックすると、利用者の職業興味の高い領域について、各職業従事者の平均得点の高い順に職業名が表示される（図表 5-11）。

図表 5-9 「興味診断テスト 質問項目」画面

職業とキャリアに関する総合情報システム CAREER MATRIX 閉じる
提供:独立行政法人 労働政策研究・研修機構

適職探索ナビ — やりたいこと、できることから職業探し

<<前に戻る

ステップ1 探索方法の選択 → ステップ2 興味診断テスト → ステップ3 興味領域の選択 → ステップ4 職業リスト

興味診断テスト(質問・回答)

次の作業や活動を(できるかどうかではなく) やってみたいかどうかでお答えください。 回答は5段階の中から選んでクリックしてください。

■凡例

5(√)	4	3	2	1(×)
やりたい	どちらかという やりたい	どちらとも いえない	どちらかという やりたくない	やりたくない

答えるときの注意

質問(1~12問)	回答
Q1:工事現場で、ブルドーザーやクレーンを運転する	5(√) 4 3 2 1(×) <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
Q2:病原体を発見するための実験や研究をする	5(√) 4 3 2 1(×) <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
Q3:ホテルで、客の受付、案内などのサービスをする	5(√) 4 3 2 1(×) <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
Q4:会社で書類のコピーをとったり、電話の取りかきをする	5(√) 4 3 2 1(×) <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/>
Q5:新しい組織を作って、リーダーとなる	5(√) 4 3 2 1(×) <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
Q6:洋服やアクセサリーのデザインをする	5(√) 4 3 2 1(×) <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>

図表 5-10 「興味診断テスト(結果)」画面

職業とキャリアに関する総合情報システム CAREER MATRIX 閉じる
提供:独立行政法人 労働政策研究・研修機構

適職探索ナビ — やりたいこと、できることから職業探し

<<前に戻る

ステップ1 探索方法の選択 → ステップ2 興味診断テスト → ステップ3 興味領域の選択 → ステップ4 職業リスト

興味診断テスト(結果)

興味領域の強さ

興味領域	強さ	ポイント
2 現実的(R)	弱 ~ 強	17ポイント
1 研究的(I)	弱 ~ 強	18ポイント
芸術的(A)	弱 ~ 強	9ポイント
社会的(S)	弱 ~ 強	10ポイント
3 企業的(E)	弱 ~ 強	16ポイント
慣習的(C)	弱 ~ 強	5ポイント

>>興味領域とは?

あなたの関心がある興味領域は、**I R E** です。

第1位 研究的(I) 研究や調査のような研究的、探索的な仕事や活動が好きなこと。
第2位 現実的(R) 機械、道具を使ったり、モノ(動植物を含む)を対象とした具体的で実際的な仕事や活動が好きなこと。
第3位 企業的(E) 企画、立案したり、組織の運営や経営等の仕事や活動が好きなこと。

メールなどで通知 印刷 診断結果を保存 次へ進む>>

図表 5-11 「あなたに向いている職業リスト」画面



職業とキャリアに関する総合情報システム
CAREER MATRIX

閉じる

提供: 独立行政法人 労働政策研究・研修機構

適職探索ナビ — やりたいこと、できることから職業探し

<<前に戻る

ステップ1
探索方法の選択

ステップ2
興味診断テスト

ステップ3
興味領域の選択

ステップ4
職業リスト

あなたに向いている職業リスト

マイリストを開く



あなたが選択した現実的(R)の興味領域に合致した、あなたに向いている職業リストです。「職業情報を見る」ボタンを押して、その職業の情報を詳しくご覧ください。気に入った職業は「マイリスト」に登録することができますので、登録して見比べてみましょう。

特性値(1～5): あなたの興味領域が各職業でどの程度の数値となっているかです。数値が高いほどその職業で重視されると考えられます。

選択した興味領域: 現実的(R) ▼ クリックで並び順が変更できます。全235件 職業説明を表示

番号	特性値	職業名	職業分野	
1	5	ペットショップ店員	販売・配達	マイリストに追加 職業情報を見る
2	5	ピアノ/調律師	その他個人サービス	マイリストに追加 職業情報を見る
3	5	パイロット	運輸・操縦	マイリストに追加 職業情報を見る
4	5	自動車整備工	運輸関連サービス	マイリストに追加 職業情報を見る
5	5	トリマー	動物	マイリストに追加 職業情報を見る
6	4	鋳物工	金属の製造・加工	マイリストに追加 職業情報を見る
7	4	鍛造工	金属の製造・加工	マイリストに追加 職業情報を見る

平均得点が高い順であるから、例えば、R領域が第1位の利用者は、誰であっても「ペットショップ店員」を先頭とする職業リストを得ることになるし、I領域が第1位の利用者は、誰であっても「高分子化学技術者」を先頭とする職業リストを得ることになる。

結果表示の考え方については、現行方式以外の方式も検討された。例えば、VPI 職業興味検査のように、利用者の興味プロフィールを興味の高い方から第1位から第3位までの3文字コードで表す一方、職業の方も3文字コードで表現しマッチングさせる方法などである。このような利用者のプロフィールと職業のコードをより近づけるようなアプローチは、一見論理的に見えるが、実は最終的な職業リストの表示順を決める手段がない。

また、あたかも人間の目でプロフィールの印象を診断することに似た複雑な数的処理過程を説明し利用者の認識を喚起する方法も検討された。しかしながらこの方法は、複雑な説明を敬遠する利用者に対しては必ずしも適切ではなく、元来この過程は通常キャリアカウンセラーやキャリアコンサルタントが行うべきものでもある。それを機械的に処理しブラックボックス化した上で表示すると、結果に過剰な権威付けを与える恐れもあると考えられた。市販されている適職判断テストの多くはそのアルゴリズムを明確にしていないし、判断の背景になったデータがどの程度のサンプルに基づいたものかも明らかにしていない。複雑な方式

の採用は、そういった傾向と立場を容認することにもつながるものであるとして採用されなかった。

そもそも適職探索ナビとして、職業興味の自己診断テストを用意した意図は、1つの自己診断結果を手がかりに幅広い職業の世界を探索させる一助とするためのものである。したがって、最終的に、利用者が理解しやすい、最も単純な結びつきを提示することが大切であるという考え方に立ち、平均得点が高い順の職業リストを提示する方式が採用されたのである。Rタイプの人が見られるリストが全く同じであっても、適性診断テストではなく職業探索ツールであると考えれば何の支障もない。利用者はこの職業リストを手がかりに利用者の個人的な興味の条件を加味しながらマイリスト（独自の職業リスト）を作成してゆけばよい。ツールに対する過剰なまでの判断機能の期待は、逆に適職探索を誤らせることにつながると考えられる。

ここまでは、興味を例にプログラムの流れを説明した。

図表 5-12 各特性とそれに含まれるカテゴリー

特性	カテゴリー
興味	現実的、研究的、芸術的、社会的、企業的、慣習的
ワークスタイル	達成感、成長、社会的認知、人間関係、自律性、労働条件
スキル	基本的スキル、適応スキル、対人スキル、テクニカル・スキル、システム・スキル、マネジメント・スキル

ワークスタイルやスキルは、図表 5-12 のように、カテゴリーと質問項目の部分が興味とは異なるが流れは変わらない。(スキルチェックは、自分の有するスキルをある程度客観的に自己評価できる必要があり、一定程度以上の就業経験を前提としている。若年者の場合は、1つの職業に概ね3年以上の就業経験をもつことを想定している。)

次に、興味、ワークスタイルやスキルとは流れの異なる「総合的にみる」を説明する。「総合的にみる」は、興味、ワークスタイル、スキルが単独の特性と職業とを結びつけて探索するのに対して、それらの複数の特性の組み合わせと職業とを結びつけて探索することができるようにしたものである。「総合的にみる」では、興味、ワークスタイル、スキルについて診断テストやチェックリストを既に終了している場合には、「実施済み」マークが付き、その結果が（1位から3位まで）が表示される。

また、興味、ワークスタイル、スキル、それぞれのカテゴリーを選ぶ（1位から3位までの表示に関係なく選べるので、関心のある任意の組み合わせでも可能）と、それぞれの組み

合わせで上位にくる職業（当該職業従事者の平均得点が3以上の職業）の積集合が作られ、職業リストが提示される（図表 5-13 に組み合わせ例）。また、「選択しない」というカテゴリーを適当に選ぶことによって、例えば「興味（企業的）＊ワークスタイル（人間関係）」、「ワークスタイル（成長）＊スキル（基礎的スキル）」など任意の2つの特性の組み合わせに対応する職業リストを得ることができる。ラジオボタンで任意のカテゴリーを選ぶと、その条件に該当する職業数（当該職業従事者の平均得点が3以上の職業の数）がダイナミックに変わる様子が画面上に表示される。利用者は、特性の組み合わせとそれらに対応する職業との関連を、即時的に体験できる。組み合わせの方式としては、同一特性内で複数カテゴリーを選ぶやり方（例えば、興味（企業的＋慣習的）＊ワークスタイル（達成感＋成長＋人間関係））も有意義であると考えられたが、開発経費の関係で割愛された。

図表 5-13 「興味（現実的）＊ワークスタイル（成長）＊スキル（基礎的スキル）」を総合した例

職業とキャリアに関する総合情報システム
CAREER MATRIX
 提供：独立行政法人 労働政策研究・研修機構

適職探索ナビ — やりたいこと、できることから職業探し

ステップ1 探索方法の選択 → **ステップ2 総合的に探す** → ステップ3 職業リスト

総合的に探す

興味、ワークスタイル、スキルの各項目を選択して、「職業リストを表示」ボタンをクリックしてください。選択した項目に対応した職業が一覧で表示されます。

この画面では、興味（現実的）、ワークスタイル（成長）、スキル（基礎的スキル）を選択し、28件の職業が検索されました。

興味	ワークスタイル	スキル
<input type="radio"/> 選択しない	<input type="radio"/> 選択しない	<input type="radio"/> 選択しない
<input checked="" type="radio"/> 現実的(R) 28件 1	<input type="radio"/> 達成感 一件 1	<input checked="" type="radio"/> 基礎的スキル 28件 1
<input type="radio"/> 研究的(I) 一件	<input checked="" type="radio"/> 成長 28件 1	<input type="radio"/> 適応スキル 一件 2
<input type="radio"/> 芸術的(A) 一件 1	<input type="radio"/> 社会的認知 一件 3	<input type="radio"/> 対人スキル 一件
<input type="radio"/> 社会的(S) 一件	<input type="radio"/> 人間関係 一件	<input type="radio"/> テクニカルスキル 一件 3
<input type="radio"/> 企業的(E) 一件 3	<input type="radio"/> 自律性 一件	<input type="radio"/> システム・スキル 一件
<input type="radio"/> 慣習的(O) 一件	<input type="radio"/> 労働条件 一件	<input type="radio"/> マネジメントスキル 一件

職業リストを表示 >>

<<前に戻る

ご意見、ご要望はこちら >>ご意見ボード

©2006-2010 JILPT, All Rights Reserved -GCSA000911-10-

キャリアガイダンスにおいて職業の世界を探索するためのツールの枠組みとしては、

- ① 自己と職業との適切なインターフェースを有する点（関連性）
- ② 職業の世界をバランスよく整理し探索できる点（バランス）
- ③ 将来の職業探索においても活用できる点（発展性）

などが求められるが、「適職探索ナビ」は、これらの点を十分に配慮して開発された。インタ

一ネットの利用の拡大によって情報が氾濫しているが、適職探索ナビのような、自己の探索が職業の探索につながり、また職業の探索が自己の探索に反映される様な枠組みをもったツールは、次の様な課題をもつ若者に有効なツールであると考えられる。

- ・ 職業への関心が浅く、興味や試行がはっきりしない
- ・ 希望職業が定まらない
- ・ どうやって職業探索していいのか分からない
- ・ 興味・志向に合わない職業を希望している
- ・ 専攻や職業訓練が合わないのではないかと感じている
- ・ 希望職業が自分の興味や得意なスキルの特徴と合っているかどうか知りたい
- ・ 興味・関心が拡散していてどのように絞っていったらよいか分からない

特に大学の就職活動を始めようとする学生に対して、バランスよく職業の世界を探索させる公共性の高いツールとして、大学のキャリアセンターなどで活用された。(第8章参照)

(2) キャリア分析ナビ

「キャリア分析ナビ」は、副題に「これまでの職歴から自分再発見」とあるように、職業経験の分析を通して職業的資産を生かすという視点から職業探索を支援するシステムである。ベーシック版とアドバンス版が用意されているが、最初ベーシック版で内容や使い方をよく理解し、やり方が分かったらアドバンス版に進むことが薦められている。

システムの説明は、画面上では次の様に表示されている。

「このシステムでは、職業毎の特性値を利用して、しごと能力のプロフィールを作成したり、職業検索などを行っています。職業毎の特性値は、その職業に従事している人たちの平均値です。あなたは、場合によっては、ここでの結果に対して違和感を感じるようなこともあるでしょう。それは、あなたの経験してきたことと同じような職業に従事している人々の平均像の間に違いがあるからです。

このシステムは、同じ職業に従事した人々の間にある特性値のばらつきや違いより、異なる職業の間にある特性値のばらつきや違いに注目して、あなたに職業探索の手がかりを提供しようとしています。ここでは、まず、平均的なプロフィールを1つの手がかりとしてあなたの職業経験の特徴をとらえ直してみましよう。そして、それらと結びつきの強い他の職業をいろいろと探索してみましよう。

キャリア分析ナビ(アドバンス版)を使って、あなたの個別経験をより反映したプロフィールに調整することもできます。ベーシック版でシステムの概要が理解できたらページの下にある「スタートする」ボタンを押してアドバンス版に進んでください。」

「キャリア分析ナビ」の分析の枠組みは、職業経験で培われた「しごと能力」を職業スキル（35 項目）、知識（33 項目）、仕事環境（14 項目）の3分野に分けて、その特徴を特性値という形で数値データ化し、それらを個々の職業従事者から得られた平均的なプロフィールと比較・対照することで自分の経験の特徴を確認したり職業探索を効果的に行うことを支援するためのものである。

「キャリア分析ナビ」（ベーシック版）の流れは次の3つのステップで進行する。

- ・ステップ1 入力（経験職業をキャリアマトリックスの職業名で入力）
 - 経験職業から「しごと能力」の特性値を得るステップである
- ・ステップ2 確認（「しごと能力」値の微調整）
 - 「しごと能力」の確認＝アピールポイントを確認するステップである
- ・ステップ3 適合度リストの表示（就きやすさ）
 - 「しごと能力」のプロフィールと適合度の高い職業リストを得るステップである

図表 5-14 入力画面

図表 5-14 は、入力の画面である。「職業分野から検索」「フリーワードで検索」「マイリストから選択」などやり方はいろいろあるが、キャリアマトリックスのデータベースに登録された1つあるいは複数の職業名が経験職業名として入力されると、システムは、キャリアマトリックスデータベースから、その職業の特性値毎の数値を取得する。特性毎のカテゴリーは、図表 5-15 の通りである。変換された数値は、ベーシック版においては、当該職業経験を

通して育まれることが期待されるカテゴリの中で高得点のものを、転職に備える「しごと能力のアピールポイント」と考え、図表 5-16 のように、プロフィールの形で表示される。

図表 5-15 各特性とそれに含まれるカテゴリ

職業スキル	1. 読む, 2. 聞く, 3. 書く, 4. 話す, 5. 数学, 6. 科学, 7. 論理と分析, 8. 積極的学習, 9. 学習戦略, 10. モニタリング, 11. 問題解決, 12. 他者理解, 13. 他者との協調, 14. 説得, 15. ネゴシエーション, 16. インストラクション, 17. サービス志向, 18. 要件分析, 19. 技術開発, 20. 道具、機材、設備の選択, 21. 据付やインストール, 22. プログラミング, 23. 計器監視, 24. オペレーションとコントロール, 25. メンテナンス, 26. トラブルシューティング, 27. 機械やシステムの修理, 28. 品質管理, 29. 意思決定, 30. システム分析, 31. システム評価, 32. 時間管理, 33. 資金管理, 34. 資材管理, 35. 人材管理
知識	1. 経営とマネジメント, 2. 事務処理, 3. 経済・会計, 4. 販売・マーケティング, 5. 顧客サービス・対人サービス, 6. 人事労務管理, 7. 輸送, 8. 生産・加工, 9. 食料生産, 10. コンピュータとエレクトロニクス, 11. エンジニアリングとテクノロジー, 12. 設計, 13. 建築・建設, 14. 機械, 15. 数学, 16. 物理学, 17. 化学, 18. 生物学, 19. 心理学, 20. 社会学・人類学, 21. 地理学, 22. 医学・歯学, 23. セラピーとカウンセリング, 24. 教育訓練, 25. 本国語, 26. 外国語, 27. 芸術, 28. 歴史学・考古学, 29. 哲学・神学, 30. 保安・警備, 31. 法律学、政治学, 32. 通信技術, 33. マスコミュニケーションとメディア
仕事環境	1. 他者とのかかわり, 2. 外部の顧客等との接触（接客）, 3. コーディネート, 4. 結果および成果への責任, 5. 仕事上での他人との対立, 6. 屋内作業, 7. 屋外作業, 8. 危険な条件にさらされる, 9. 座り作業, 10. 立ち作業, 11. ミスの影響度, 12. 厳密さ、正確さ, 13. 反復作業, 14. 作業速度が機器等の速度によって決められる

次に、図表 5-16 の画面下の「次へ進む」をクリックすることによって、システムは、経験職業の「しごと能力」プロフィールとそれ以外の職業の「しごと能力」プロフィールの類似性の照合を行う。プロフィールの類似性の評価に関しては、「キャリア分析ナビ」では、個人の仕事能力プロフィールと職業毎の特性プロフィール（各職業従事者の特性値平均から描かれた平均仕事能力プロフィール）との相関係数で類似度を評価している。

「キャリア分析ナビ」は、キャリアマトリックスが持っている職業毎の数値データを活用して、利用者の職業経験を「しごと能力」のプロフィールの数値データとして表現するところに特徴がある。職業経験を生かすということは言うは易く行うは難しく、本来ハローワークの相談員やキャリアコンサルタントなど、職業情報に詳しい専門家が面談する中で相談者の職務経歴などを聞き出し分析・検討し実現していくものである。この専門家の営みをキャリアマトリックスが持つ豊かで体系的な数値データを活用することにより、簡便にシミュレーションしようとするのが「キャリア分析ナビ」ということができる。

「キャリア分析ナビ」を利用することによって、利用者は自分の職業経験が、どのような「しごと能力」を育み、それを職業的資産として生かす上で有利な職業にはどんなものがある

るかを確認することができる。また、アドバンス版を使えば、利用者の個別な職歴経験をより反映した形の「しごと能力」プロフィールを描くことも可能である。

図表 5-16 「しごと能力」のプロフィールの例

職業とキャリアに関する総合情報システム **CAREER MATRIX** 閉じる
 提供：独立行政法人 労働政策研究・研修機構

キャリア分析ナビ[ベーシック版] — これまでの職歴から自分再発見

◀前に戻る

ステップ1 経験職業の選択 → **ステップ2 しごと能力** → ステップ3 就きやすさ

あなたのしごと能力を推定

あなたの経験職業(プログラマー)から推定されるしごと能力です。
 >>詳しくはこちら

プログラマー
 プログラマーは、コンピュータ専用の言葉である「プログラム言語」を使って、コンピュータが大量の情報をすばやく正確に処理するための手順を作成したり、組み込む作業を行う。

◀選り抜く

次へ進む>>

しごと能力のアピールポイント：「プログラマー」経験者

職業スキル(研修や経験を通して時間をかけて育まれる能力)

番号	名称	能力の高さ
1	プログラミング コンピューター・プログラムを作成すること。	■■■■■
2	読む 仕事に必要な文書を理解すること。	■■■■■
3	聞く 言われることを的確に理解すること。	■■■■■
4	書く 文章での確に情報を伝えること。	■■■■■
5	話す 口頭での確に情報を伝えること。	■■■■■

知識

番号	名称	能力の高さ
1	コンピュータとエレクトロニクス 回路基板、プロセッサ、チップ、電子機器、アプリケーションとプログラミングを含む、コンピュータのハードウェアとソフトウェアについての知識。	■■■■■
2	事務処理 パソコン制作、ファイルや記録の管理、速記と書き起こし、書式の設計、その他の事務手続きといった管理事務手続きやシステム、および専門用語についての知識。	■■■■■
3	顧客サービス・対人サービス 顧客・対人サービスを提供するための原理とプロセスについての知識。この知識の内容には、顧客のニーズ査定、サービスの品質基準の評価方法、顧客の満足度評価に関する知識が含まれる。	■■■■■
4	エンジニアリングとテクノロジー 工学と技術の実践的利用、及び、原理、手法、手順、様々な商品やサービスの設計と生産に应用することに關する知識。	■■■■■
5	設計 精密な技術計画、設計図、諸図面、モデルの作成に關するデザイン的手法、ツール、原理についての知識。	■■■■■

仕事環境(作業環境、人とのかかわり方、仕事の影響度、等)

番号	名称	能力の高さ
1	屋内作業 職務において、屋内で働くこと。	■■■■■
2	座り作業 職務において、座り作業の時間。	■■■■■
3	厳密さ、正確さ きわめて厳密、正確に職務を遂行することの重要性。	■■■■■
4	他者とのかかわり 職務を遂行するために、他の人と接触(電話、対面、その他の方法で)する程度。	■■■■■
5	外部の顧客等との接触(接客) 外部の顧客(たとえば小売販売)もしくは公衆(たとえば警察の仕事)を相手にすることの重要性。	■■■■■

次へ進む>>

職業経験を生かすという職業選択は、ある程度の職業経験を持つ求職者にとっては、経験の中で培われたさまざまな職業的資産を生かす道でもあり有望な選択肢である。しかしなが

ら、広大な職業の世界の中から、同一職業以外にそれらの選択肢を見つけ出すのは専門家にとってすら至難な事と言わなければならない。「キャリア分析ナビ」はキャリアマトリックスの豊富な数値データを活用して、この難題に対する1つの手がかりを提供しようとするものである。

留意されなければならないのは、「キャリア分析ナビ」が提供するの、職業経験の中から平均的な「しごと能力」プロフィールを描くことまでであるという点である。それから先にさまざまな現実的な状況・条件等を加味して具体的なキャリアプランを作成するのは、利用者自身あるいはキャリアコンサルタント等の専門家と利用者の中で相談しながら進めていくべきものである。

職業の世界に入る直前まで、人は全く職業についての情報を何も持たずにいるわけではない。そこでガイダンスでは、それらの特定個人に関する職業情報を点検することから始めなければならない。職業について偏りのあるパーソナルな情報やある種の職業や職業訓練などへの誘導を含む情報などは、進路指導のねらう勤労観・職業観の形成をむしろ阻害する。このため、実証データに裏付けられた相互比較可能で客観的で標準的な職業情報が必要なのであり、自己理解ツール群は、それを可能にしたものである。

4. 人事管理

キャリアマトリックスでは開発当初より、人事労務担当者にも活用されることを意図されていた。人事労務担当者にも活用されることにより、求職者側と同じ情報が使われ共通言語として、システムが機能することになる。企業人事担当者向け機能は2008年の新システムから提供した。

(1) 人材採用支援システム

人材採用にあたっては、職務要件の中核となる職務能力を明確にすることが必要である。「人材採用支援システム」は、人事担当者等が簡単な操作で仕事に関連した職務要件(職業名、仕事内容、必要なスキル、知識等)を作成することを支援するシステムである。

具体的には次の3ステップを踏むことで職務要件シートが自動的に作成される。

ステップ1：求める人材に近い職業を約500職種の中から選択する。

ステップ2：選択した職業を元に、必要に応じて職務要件を修正・追加する。

ステップ3：職務要件シートが表示されるので、必要であればそれをさらに編集し、保存する。

以上により人材採用支援システムでは、「仕事内容や必要なスキル他を明確にし、適切な人材を採用したい」、「今まで採用していなかった職種を募集するので具体的な仕事内容や必要なスキルを明確にしなければならない」、「『事務』や『販売』ではなく、もう少し詳細に仕事の内容を書きたい」といった場合に活用することができる。人事担当者と言えども、様々

な職業に精通しているわけではなく、どのような職務能力を採用の要件に含ませるべきか判断がつかない場合がある。そうした際に、適切な職務要件を作成できるよう手助けするのが人材採用支援システムである。

求職者側が仕事を選ぶ際も、ハローワークの求人票における「仕事の内容」は非常に重視される。自分ができる仕事か、自分がしてみたい仕事か、自分のこれまでの経験が生かせるか、等々を判断するのが「仕事の内容」だからである。人材採用支援システムを活用して、「仕事の内容」を充実させることは、求職者にとっても必要なことであり、応募が集まる求人票の作成につながると考えられた。

職業とキャリアに関する総合情報システム
CAREER MATRIX
 提供：独立行政法人 労働政策研究・研修機構

人材採用支援システム — 職務要件の作成

ガイド

人材採用企画書
 職務要件
 職業名
 仕事内容(職業)
 必要なスキル
 労働条件
 賃金
 職務時間
 勤務場所

人材採用にあたっては、職務要件の中核となる職務能力を明確にすることが必要です。
 ここでは簡単な操作で仕事に関連した職務要件(職業名、仕事内容、必要なスキル、知識等)が作成できます。
 (活用例)
 ・仕事内容や必要なスキル(他)を明確にし、適切な人材を採用したい。
 ・今まで採用していなかった職種を募集する。仕事内容や必要なスキルは、「事務」や「販売」ではなく、もう少し詳細に仕事の内容を書きたい。

ステップ1 近い職種を選択
 求める人材に近いものを約500職種のなかから選択。

ステップ2 職務要件の編集
 選択した職種を元に、職務要件を修正、追加。

ステップ3 職務要件シート表示
 職務要件シートが表示されます。職務要件は保存しワード等で編集することもできます。

スタート>>

©2006-2010 JILPT, All Rights Reserved -GOSO-guide0911-0-

人材採用支援システム開始画面 これから求人する職業に近い職種を選択し（ステップ1）、選択した職業の情報をもとに職務要件を編集し（ステップ2）、職務要件シートができあがる（ステップ3）ことが示される。

職業とキャリアに関する総合情報システム
CAREER MATRIX
 提供：独立行政法人 労働政策研究・研修機構

人材採用支援システム — 職務要件の作成

ステップ1 近い職種選択

ステップ2 職務要件の編集

ステップ3 職務要件シート表示

ステップ1: 近い職種選択

システムに登録されている約500職種の中から、求めている人材に最も近い職種を選択し、その情報を元に人材の要件を作成します。

職種名 社会福祉施設介護職員

職業が選択されました。職業名を確認して「次へ」ボタンを押してください

<<職業を選びなおす 次へ>>

©2006-2010 JILPT, All Rights Reserved -GOSO-00911-0-

人材採用支援システム ステップ1 これから求人する職種に近い職種を選択する。ここでは、例として「社会福祉施設介護職員」を選択している。

ステップ2: 職務要件の編集

選択された職種から、職務要件を編集します。必要と思われる要件に新たにチェックを入れたり外したりしてください。必要な要件を自由記述で追加することもできます。

次へ>>

職種名

関連資格

- 1 介護福祉士
- 2 ホームヘルパー

上記以外であなたが必要と考える資格は、以下に記入し「追加」ボタンを押して追加してください。

その仕事の一般的な課業(仕事内容)

- 1 社会福祉施設に入居したり通所で利用する人たちの保護・介護・援助を行う。
- 2 利用者の状況に応じて身体介助や生活全般の援助をする。
- 3 利用者の日課や訓練を調整し、自立に向けた生活指針や計画を立てる。
- 4 障害者福祉施設で障害の状況を踏まえた介助や生活支援をする。
- 5 老人福祉施設で健康状態や残存能力に応じた介助や生活支援をする。
- 6 利用者の気力や能力を引き出すために、施設でのレクリエーションを計画し、実行する。
- 7 看護職員や医療機関との連絡や調整をする。
- 8 必要に応じて利用者の家族への連絡や調整をする。
- 9 必要に応じて利用者間の人間関係を調整する。
- 10 学校と連絡を取り、児童福祉施設にいる児童の発達段階や個性に応じた生活指導をする。

上記以外であなたが必要と考える仕事の内容は、以下に記入し「追加」ボタンを押して追加してください。

関連のある業務をデータベース内から検索することもできます。

重視するスキル(重要度順に表示しています)

- 1 **他者理解:** 他者の反応に気づき、その行動の背景を理解すること。 ★★★★★
- 2 **サービス志向:** 積極的に他者を援助しようとする。 ★★★★★
- 3 **読む:** 仕事に必要な文書を理解すること。 ★★★★★
- 4 **聞く:** 言われることを的確に理解すること。 ★★★★★
- 5 **話す:** 口頭で的確に情報を伝えること。 ★★★★★
- 6 **積極的学習:** 新たな知識を必要に応じて積極的に吸収すること。 ★★★★★
- 7 **学習戦略:** 適切な方法で新しい物事を学んだり、または、他者に教えられること。 ★★★★★
- 8 **モニタリング:** 適切に人や組織を観察、評価できること。 ★★★★★
- 9 **問題解決:** 複雑な問題の本質をつかみ、関連する情報を整理して、問題解決すること。 ★★★★★
- 10 **他者との協調:** 他者の行動に合わせて行動すること。 ★★★★★
- 11 **説得:** 考え方や行動を変えるよう他者を説得すること。 ★★★★★
- 12 **ネゴシエーション:** 和解させたり、意見の違いを解消すること。 ★★★★★
- 13 **インストラクション:** 物事のやり方を教えること。 ★★★★★
- 14 **時間管理:** 自分自身や他者の時間を管理すること。 ★★★★★

重視する知識(重要度順に表示しています)

- 1 **心理学:** 人間の行動とパフォーマンス、能力、性格、関心における個人差、学習と動機付け、心理学的調査の方法、行動障害と情動障害の査定と治療についての知識。 ★★★★★
- 2 **医学・歯学:** 人間の傷害、病氣、障害等を診断し治療するのに必要な情報と技法についての知識。この知識には、診断、治療方法、医薬品の特性と相互作用、予防方法が含まれる。 ★★★★★

重視する仕事環境(重要度順に表示しています)

- 1 **他者とのかわわり:** 職務を遂行するために、他の人と接触(電話、対面、その他の方法で)する程度。 ★★★★★
- 2 **屋内作業:** 職務において、屋内で働くこと。 ★★★★★
- 3 **コーディネート:** 業務を遂行するに際して、同僚等と調整したり、連携したりすることの重要性。 ★★★★★
- 4 **結果および成果への責任:** 仕事の成果や結果に責任を負う程度。 ★★★★★
- 5 **立ち作業:** 職務において、立ち作業の時間。 ★★★★★
- 6 **ミスの影響度:** 職務でミスをした場合、その結果がどの程度重大となるか。 ★★★★★
- 7 **厳密さ、正確さ:** きわめて厳密、正確に職務を遂行することの重要性。 ★★★★★

次へ>>

人材採用支援システム ステップ2 「社会福祉施設介護職員」に関連する資格、一般的な課業(仕事内容)、必要なスキル、知識、一般的な仕事環境が表示されるので、自社の求人内容に合わせて取捨選択する。一般的には必要であっても今回の求人では必要ないものは外し、表示されていないものは追加することができる。



ステップ3:職務要件シート表示

職務要件リストです。ワープロ等にコピー編集することもできます。
 内容を確認の上、必要に応じて印刷などをおこなってください。

職種名 社会福祉施設介護職員

必要な資格

- 1 介護福祉士

その仕事の一般的な課業(仕事内容)

- 1 社会福祉施設に入居したり通所で利用する人たちの保護・介護・援助を行う。
- 2 利用者の状況に応じて身体介助や生活全般の援助をする。
- 3 障害者福祉施設で障害の状況を踏まえた介助や生活支援をする。
- 4 老人福祉施設で健康状態や残存能力に応じた介助や生活支援をする。
- 5 利用者の気力や能力を引き出すために、施設でのレクリエーションを計画し、実行する。
- 6 必要に応じて利用者の家族への連絡や調整をする。

重視するスキル

- 1 **他者理解**: 他者の反応に気づき、その行動の背景を理解すること。
- 2 **サービス志向**: 積極的に他者を援助しようとする。
- 3 **読む**: 仕事に必要な文書を理解すること。
- 4 **聞く**: 言われることを的確に理解すること。
- 5 **話す**: 口頭で的確に情報を伝えること。
- 6 **他者との協調**: 他者の行動に合わせて行動すること。
- 7 **説得**: 考え方や行動を変えるよう他者を説得すること。

重視する知識

- 1 **心理学**: 人間の行動とパフォーマンス、能力、性格、関心における個人差、学習と動機付け、心理学的調査の方法、行動障害と情動障害の査定と治療についての知識。

重視する仕事環境

- 1 **他者とのかわり**: 職務を遂行するために、他の人と接触(電話、対面、その他の方法)する程度。
- 2 **屋内作業**: 職務において、屋内で働くこと。
- 3 **結果および成果への責任**: 仕事の成果や結果に責任を負う程度。
- 4 **立ち作業**: 職務において、立ち作業の時間。

保存 コピー 印刷

人材採用支援システム ステップ3 ステップ2で編集した結果が示される。この結果をファイルとして保存したり、画面をコピーし、ワード等に貼り付け、さらに編集を行うこともできる。また、紙に印刷することもできる。

(2) 人材活用シミュレーション

「人材活用シミュレーション」は、企業の人事担当者等が現状の人材と将来のあるべき人材を客観的に比較し、人材の活用、教育訓練などの検討の参考とするためのシステムである。例えば、企業が新事業に乗り出す際には、今の人材をいかに活用するかが問題となる。この場合、今の人材の特性や能力はどのような状況であり、また新たな仕事に携わる人材に必要な特性や能力はどうであるかを見極め、必要であれば今の人材に対して教育・研修などを行う必要がある。こうした検討を支援するのが「人材活用シミュレーション」である。また、「人材活用シミュレーション」は地域の雇用政策の検討に活用することもできる。例えば、地域の工場等が閉鎖された場合、職を失った人材の特性を把握し、他の事業所などでどのように活用するかをこのシステムを使い検討することができる。米国労働省の O*NET もこのような地域の雇用政策に活用されている。

「人材活用シミュレーション」も次の3ステップで構成されている。

ステップ1：現状の人材の職業能力プロフィール(仕事内容、スキル、知識等)を作成する。

職業検索によって現状の人材の職業を選択すると、その職業の平均的な人材プロフィールが表示される。必要であればこのプロフィール得点を調整することもできる。

ステップ2：必要な人材の職業能力プロフィールを作成する。ここでも必要な人材の職業を選択し、必要に応じて個々のプロフィール得点を調整することもできる。

ステップ3：ステップ1、ステップ2で作成した人材の現状と必要な人材のプロフィールを比較する画面が出力される。このプロフィール比較では、「現状」と「必要」のプロフィール得点がそれぞれ色分けされて項目順に同時に表示され、どのような能力を補う必要があるのかを一覧することができる。また、表示順をクリックで並べ替え、足りない能力から順に表示させることもできる（差分順）。項目順の表示は内容的には近いものが並んで表示されるため、スキルや能力の分野で、全体としてどのような状況かを見ることができる。差分順では、どのような部分が今後の人材として不足しているかが分かりやすいことになる。

人材活用シミュレーションの一つの活用事例として次のようなものがある。ある経営コンサルタントが車のディーラー店において、自動車整備工の今後の職種転換を検討した際、人材活用シミュレーションを活用して、イメージとしてはかなり違いのある職業の自動車販売員と、自動車整備工の間には、人材プロフィールが意外と近いことを発見した。当然ながら違いもあるが、その違いは逆に生かすこともできる。これを基に自動車整備工の自動車販売員としての活用提案をディーラー店にしたところ、自動車整備工が自動車販売員となり活躍したとのことであった。人材を見る場合、違いに目が行きがちであるが、重なり合う部分も多い。違いと変わらない部分を客観的に示すことができるのが、人材活用シミュレーションといえる。

ガイド



人材能力比較
 現状 ● 必要

職業スキル
 情報処理
 サービス業務
 プログラミング

知識
 経済・会計
 統計
 教育経歴

現状の人材と必要な人材のプロフィールを比較し、アピールポイント(強み)とチャレンジポイント(弱み)がわかります。

〔活用例〕

- ・プログラマをSEにしたい。
- ・新事業に転換し仕事が変わる。今の人材をいかに活用するか。
- ・生産工程の人材をサービスや介護の分野で活用したい。

- ステップ1** **現状の人材**
 現状の人材のプロフィール(仕事内容、スキル、知識等)を作成。
- ステップ2** **必要な人材**
 必要な人材のプロフィール(仕事内容、スキル、知識等)を作成。
- ステップ3** **プロフィール比較**
 現状の人材のプロフィールと必要な人材のプロフィールを比較。

スタート>>

**人材活用シミュレーション
 開始画面** 現状の人材のプロ
 フィールを作り (ステップ1)、
 必要となる人材のプロフィール
 を作り (ステップ2)、両者を比
 較することが示される (ステッ
 プ3)。



ステップ1: 現状人材プロフィール作成

現状の人材のプロフィールを作成します。
選択された職業の一般的なプロフィールが表示されます。必要に応じて修正してください。

<< 職業を並びなおす

次へ >>

現状 現状の人材 AV・通信機器組立・修理工

現状 おこなう仕事の内容(課業)

- 1 様々なAV機器や電気通信機器の組立て、調整、検査をする。
- 2 ユニット部品を組立てる機械を操作する。
- 3 シャーシに各ユニット部品を手作業で取付ける。
- 4 電気ドライバーを使用して部品を締結する。
- 5 ドライバーを用いて部品の位置や高さの調整、表示レベルの設定をする。
- 6 ワイヤを型図通りに配線する。
- 7 コネクターやワイヤーを挿入し、ユニット間を接続する。
- 8 ワイヤに端子・コネクタ類を接続するため、はんだ付けや圧着接続をする。
- 9 自動組立装置へ部品を供給する。
- 10 自動組立装置の運転の監視をする。
- 11 動作を確認するため、基準信号やテスト用の備品を使って、出力の電圧や電流の波形を測定する。
- 12 コンピュータからデータを電子機器のメモリーに書き込む。
- 13 コンピュータを使用して機器の検査や調整をする。
- 14 製品の外觀検査および動作確認をする。

現状 職業スキル(研修や経験を通して時間をかけて育まれる能力)

	不要←	必要性(重要性)	→必須	調整
1. 読む		3		← +
2. 聞く		3		← +
3. 書く		3		← +
4. 話す		3		← +
5. 算数		2		← +
6. 科学		2		← +
7. 論理と分析		3		← +
8. 積極的学習		3		← +
9. 学習戦略		3		← +
10. モニタリング		3		← +
11. 問題解決		3		← +
12. 他者理解		3		← +
13. 他者との協調		3		← +
14. 説得		3		← +
15. ネットワーキング		3		← +
16. インストラクション		3		← +
17. サービス志向		3		← +
18. 要件分析		2		← +
19. 技術開発		2		← +
20. 道具、機材、設備の選択		3		← +
21. 搬入やインストール		3		← +
22. プログラミング		2		← +
23. 計器監視		3		← +
24. オペレーションとコントロール		3		← +
25. メンテナンス		3		← +
26. トラブルシューティング		3		← +
27. 機械やシステムの修理		3		← +
28. 品質管理		3		← +
29. 意思決定		3		← +
30. システム分析		3		← +
31. システム評価		2		← +
32. 時間管理		3		← +
33. 資金管理		2		← +
34. 資材管理		2		← +
35. 人材管理		2		← +

人材活用シミュレーション
ステップ1 現状の人材として、「AV・通信機器組立・修理工」を選択している。ここではスキルまで表示しているが、この下に知識と仕事環境も表示される。一般的な仕事の内容(課業)が表示されるが、現在していない課業はチェックを外す。スキル等も一般的なレベルが示されているので、+と-で調整することができる。

<<前に戻る



ステップ2: 必要人材プロフィール作成

必要人材のプロフィールを作成します。
選択された職業の一般的なプロフィールが表示されます。必要に応じて修正してください。

<< 職業を選びなおす

次へ >>

必要 必要人材

必要 おこなう仕事の内容(課業)

- 1 社会福祉施設に入居したり通所で利用する人たちの保護・介護・援助を行う。
- 2 利用者の状況に応じて身体介助や生活全般の援助をする。
- 3 利用者の日課や訓練を調整し、自立に向けた生活指針や計画を立てる。
- 4 障害者福祉施設で障害者の状況を踏まえた介助や生活支援をする。
- 5 老人福祉施設で健康状態や残存能力に応じた介助や生活支援をする。
- 6 利用者の気力や能力を引き出すために、施設でのレクリエーションを計画し、実行する。
- 7 看護職員や医療機関との連絡や調整をする。
- 8 必要に応じて利用者の家族への連絡や調整をする。
- 9 必要に応じて利用者間の人間関係を調整する。
- 10 学校と連絡を取り、児童福祉施設にいる児童の発達段階や個性に応じた生活指導をする。

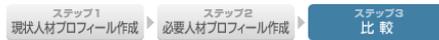
必要 職業スキル(研修や経験を通して時間をかけて育まれる能力)

	不要 ←	必要性(重要性)	→ 必須	調整
1. 読む		4		- +
2. 聞く		4		- +
3. 書く		3		- +
4. 話す		4		- +
5. 数学		2		- +
6. 科学		2		- +
7. 論理と分析		3		- +
8. 積極的学習		4		- +
9. 学習戦略		4		- +
10. モニタリング		4		- +
11. 問題解決		4		- +
12. 他者理解			5	- +
13. 他者との協調		4		- +
14. 説得		4		- +
15. ネゴシエーション		4		- +
16. インストラクション		4		- +
17. サービス志向			5	- +
18. 要件分析		2		- +
19. 技術開発		2		- +
20. 道具、機材、設備の選択		3		- +
21. 据付けやインストール		2		- +
22. プログラミング		2		- +
23. 計器監視		2		- +
24. オペレーションとコントロール		2		- +
25. メンテナンス		2		- +
26. トラブルシューティング		2		- +
27. 機械やシステムの修理		2		- +
28. 品質管理		2		- +
29. 意思決定		2		- +
30. システム分析		2		- +
31. システム評価		2		- +
32. 時間管理			4	- +
33. 資金管理		2		- +
34. 資材管理		2		- +
35. 人材管理		3		- +

人材活用シミュレーション

ステップ2 今後必要となる人材に近いものとして、「社会福祉施設介護職員」を選択している。ここではスキルまで表示しているが、この下に知識と仕事環境も表示される。一般的な仕事の内容(課業)が表示されるが、行わないと考えられる課業はチェックを外す。また、スキル等も一般的なレベルが示されているので、+と-で調整する。

<<前に戻る



ステップ3: 人材の比較

現状の人材と必要な人材とを比較します。

現状	現状の人材	AV・通信機器組立・修理工
必要	必要な人材	社会福祉施設介護職員

現状 現状の課業

- 様々なAV機器や電気通信機器の組立て、調整、検査をする。
- ユニット部品を組立てる機械を操作する。
- シャーシーに各ユニット部品を手作業で取付ける。
- 電気ドライバーを使用して部品を締結する。
- ドライバーを用いて部品の位置や高さの調整、表示レベルの設定をする。
- ワイヤを型図通りに配線する。
- コネクタやワイヤーを挿入し、ユニット間を接続する。
- ワイヤに端子・コネクタ類を接続するため、はんだ付けや圧着接続をする。
- 自動組立装置へ部品を供給する。

必要 必要な課業

- 社会福祉施設に入居したり通所で利用する人たちの保護・介護・援助を行う。
- 利用者の状況に応じて身体介助や生活全般の援助をする。
- 利用者の日課や訓練を調整し、自立に向けた生活指針や計画を立てる。
- 障害者福祉施設で障害者の状況を踏まえた介助や生活支援をする。
- 老人福祉施設で健康状態や残存能力に応じた介助や生活支援をする。
- 看護職員や医療機関との連絡や調整をする。

職業スキル(研修や経験を通して時間をかけて育まれる能力)

並べ替え 項目隠し ▼差分類

番号	名称	必要性(重要性)
1	他者理解 他者の反応に気づき、その行動の背景を理解すること。	現状 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2	サービス志向 積極的に他者を援助しようとする。	現状 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3	読む 仕事に必要な文書を理解すること。	現状 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
4	説得 考え方や行動を変えるよう他者を説得すること。	現状 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
5	他者との協調 他者の行動に合わせて行動すること。	現状 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
6	問題解決 複雑な問題の本質をつかみ、関連する情報を整理して、問題解決すること。	現状 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
7	モニタリング 適切に人や組織を観察、評価できること。	現状 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
8	学習戦略 適切な方法で新しい物事を学んだり、または、他者に教えられること。	現状 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
9	積極的学習 新たな知識を必要に応じて積極的に吸収すること。	現状 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
10	インストラクション 物事のやり方を教えること。	現状 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
11	話す 口頭で的確に情報を伝えること。	現状 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
12	時間管理 自分自身や他者の時間を管理すること。	現状 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

人材活用シミュレーション

ステップ3 現状の人材と今後必要となる人材の比較を示している。ここではスキルの途中まで表示しているが、この下に知識と仕事環境も表示される。課業として具体的な仕事の内容の違いがまず示され、続いてスキルの面での違いが示されている。スキル等の分類項目順に表示することもできるが、画面では「差分順」として、足りないと考えられるものから示されている。「他者理解」、「サービス志向」、「読む」、「説得」等が上位にきている。「AV・通信機器組立・修理工」が、「社会福祉施設介護職員」の仕事をしよとすれば、このようなところに大きな差がみられることがわかる。

5. その他の機能

キャリアマトリックスではこの他に、調べた職業を一時的に保存するマイリスト、1000の職業について、簡単な解説を行っている冊子である「職業レファレンスブック」をサイトの中で見られる機能、ハローワーク等の近くの相談窓口を簡単に探すことができる「相談窓口マップ検索」等の機能がある。以下、これらの機能の概要を説明する。

(1) マイリスト

職業情報画面で画面右上にある「マイリストに追加」をクリックすると、見た職業を一時的に保存でき、後でまとめて見直すことができる。また、適職探索ナビ等キャリアマトリックスの様々な機能を使っている途中でも「マイリストに追加」を行うことができる。

マイリストを開くと以下の画面のように、自分が追加した職業名の一覧をみることができる。マイリストはこのように個人情報の要素を持つため、システムには保存せず、ブラウザを閉じた時点でクリアされる。自分のマイリストを残しておきたい場合は、画面右上の「メールで通知」をクリックし、マイリストの内容を自分宛て等にメールで送信できるようにしている。

職業とキャリアに関する総合情報システム
CAREER MATRIX

メールで通知 閉じる

マイリスト

あなたがお気に入りとして登録した職業のリストです。職業名をクリックすると、その職業の詳細情報を見ることができます。「削除」ボタンをクリックすると、その職業をリストから削除することができます。
[>>マイリストとは](#)

■凡例

興	興味にあった職業	ワ	ワークスタイルにあった職業
ス	スキルにあった職業	自	自動リストアップされた職業
検	職業検索で登録した職業	他	その他の方法で選んだ職業

マイリストに登録されている職業です。 印刷 職業名のみ表示

2件登録されています。1件目~2件目 <<前ページ 次ページ>>

番号	職業名	興	ワ	ス	自	検	他	削除
1	社会福祉施設介護職員 高齢者や障害があり自立して日常生活を送ることが困難な人など、社会福祉施設に入居したり通所で利用する人々の世話をし、話し相手となる。							
2	ケアマネージャー ケアマネージャーは介護保険制度とともにスタートした新しい職業で、正式には「介護支援専門員」という。ケアマネージャーの仕事は、介護を必要とする人に対して個々のニーズに応じた介護サービスを提供するために、アセスメント(課題分析)、ケアプラン(介護サービス計画)からなるケアマネジメントを行うことである。市町村から「要介護認定」を委託された場合は調査を行い、その結果を報告する。							

(2) 職業レファレンスブック

「職業レファレンスブック」は、厚生労働省編職業分類（ESCO）の主要 1000 職業に関して、どのような職業かを短く解説した冊子である。この冊子の内容をキャリアマトリックスの中で見ることができるにしている。収録職業数が 1000 であることから、キャリアマトリックスにない職業情報を閲覧することができる。

職業レファレンスは、分類からのとフリーワードでの検索ができる。また例に示すように関連するキャリアマトリックスの職業名へのリンクも設定している。

職業レファレンスブック



労働省編職業分類(ESCO)の主要職業をコンパクトに解説する職業辞典です。

職業レファレンスブック検索

検索

分類の体系

[A 専門的技術](#)

[B 管理的職業](#)

[C 事務的職業](#)

[D 販売の職業](#)

[E サービスの職業](#)

[F 保安の職業](#)

[G 農林漁業の職業](#)

[H 運輸・通信の職業](#)

[I 生産工程労務の職業1](#)

[I 生産工程労務の職業2](#)

[I 生産工程労務の職業3](#)

[I 生産工程労務の職業4](#)

[I 生産工程労務の職業5](#)

[Z 追補22職業](#)

職業レファレンスブック

I 生産工程労務の職業5

玉掛工 (739-40)

クレーンなどを用いて荷役の運搬をする場合に、専用のワイヤーなどの吊り具に荷を掛け、また荷を外す玉掛け作業を行う。まず、作業前に使用するワイヤーやロープなどを点検し、使用中に切断することがないようにする。荷物を吊り上げるため、専用のワイヤーを荷物に取り付ける。荷物の重量や重心などを考慮し、吊り上げ中に荷物を揺らさず、安定して吊り上げられるように注意を払う。吊り上げの途中でワイヤーが外れることがないように、しっかりと吊り具をフックにかかせる。吊り上げの準備が完了したことを確認し、クレーンなどの運転者に対して所定の合図を送り、荷物を吊り上げて移動させる。移動中は荷物の状況や周囲の障害物などを確認する。移動先では、合図を送って荷物を所定の位置に安置し、クレーンなどのフックからワイヤーを取り外す。

関連する職業

[クレーン運転工 \(732-10\)](#)

(3) 相談窓口マップ検索

近くのハローワーク等相談窓口を検索できるものである。図では現在地として「新宿駅」を設定し、周辺 20Km 以内のハローワーク、パートバンク、人材銀行、ジョブカフェ、雇用・能力開発機構、地域若者サポートステーション、学生相談窓口を検索している。

検索結果は現在地の周りに各施設がプロットされ、また、現在地から近い順に各施設一覧を示す。施設にホームページがある場合はホームページへのリンクを用意し、また、施設の周辺地図を表示できるようにしている。

職業相談、求人紹介、教育訓練等の施設の所在地情報

職業相談や求人紹介などおこなっているハローワーク等の施設の所在地についてご案内します。

住所や駅名等から地図を検索できます。

現在地：新宿駅

新宿駅

地図を検索



- 探す施設: ハローワーク パートバンク 人材銀行 ジョブカフェ 雇用・能力開発機構
 地域若者サポートステーション 学生相談窓口

種別	施設名 (リンクはHPへ)	直線距離 Km	住所 (クリックで地図を表示)	電話番号
ハ	ハローワーク 新宿(西新宿庁舎)	0.3	新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワービル23階	03-5325-9593
ハ	ハローワーク 新宿	0.7	新宿区歌舞伎町2-42-10	03-3200-8609
ハ	ハローワーク 渋谷	2.8	渋谷区神南1-3-5	03-3476-8609
ハ	ハローワーク 宇田川町(出)<マザーズハローワーク>	3.4	渋谷区渋谷1-13-7 千秋ビル3階	03-3409-8609
パ	下北沢パートバンク	4.2	世田谷区北沢2-8-18 北沢タウンホール1階	03-3485-8609
ハ	ハローワーク 池袋マザーズコーナー	4.5	豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 3階	03-5911-8609
ハ	ハローワーク 池袋(サンシャイン庁舎)	4.5	豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 3階	雇用保険給付課 03-5958-8609 職業相談 03-5911-8609
ハ	ハローワーク 池袋	4.7	豊島区東池袋3-5-13	03-3987-8609
学	学生職業総合支援センター	4.5	港区六本木3-2-21 六本木ジョブパーク	03-3589-8609
ハ	ハローワーク 品川(六本木庁舎)	4.5	港区六本木3-2-21	03-3588-8609
ハ	ハローワーク 飯田橋(本庁舎)	4.4	文京区後楽1-9-20	03-3812-8609
雇	雇用・能力開発機構 飯田橋事務所	4.4	文京区後楽1-9-20 飯田橋合同庁舎9階	03-5805-6321
ジ	東京しごとセンター	4.5	千代田区飯田橋3-10-3	03-5211-1571
人	東京人材銀行	6.0	千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館11階	03-3212-1996

6. 「キャリアマトリックス・モバイル」携帯端末向けキャリアマトリックス

キャリアマトリックス本体とは別のものであるが、厚生労働省が2009年5月に開設した、携帯電話向けの情報サイト「キャリモバ.jp」の中で、キャリアマトリックスの携帯電話用サイトを提供した¹⁰。

(1) システム概要

本システムは厚生労働省が提供する「キャリモバ.jp」のメニューの一つを構成するものであり、職業情報と簡易な適職診断を行う。

1) システム構成

図表 5-17 にシステムの構成図を示した。トップ画面に職業事典、適職診断、マイリストがあり、職業事典では職業分野検索、テーマ検索、フリーワード検索によって職業を探すことができる。職業分野検索では当機構の出版物である『職業ハンドブック』また『職業ハンドブック OHBY』の目次に使われている分類から職業を特定するものである。分類は、一般の利用者、特に若年者には分かりやすいものとなっている。「テーマ検索」では、「モノを加工する」、「デザインする」、「人をケアする」、「海外で活躍する」等、職業を特徴づける52のテーマから職業を検索することができる。「テーマ検索」の画面では上から順番に、モノに関するもの(DPTとして知られる対物関係志向のT、Thing)、概念やアイデアに関するもの(DPTの対情報関係志向のD、Data)、人に関するもの(DPTの対人間関係志向のP、People)とその他、の4つにまとめたテーマが一覧となって表示される。これが分かっているとテーマを探しやすい。「フリーワード検索」では、思いついた言葉が職業名や職業解説に含まれる職業が検索される。

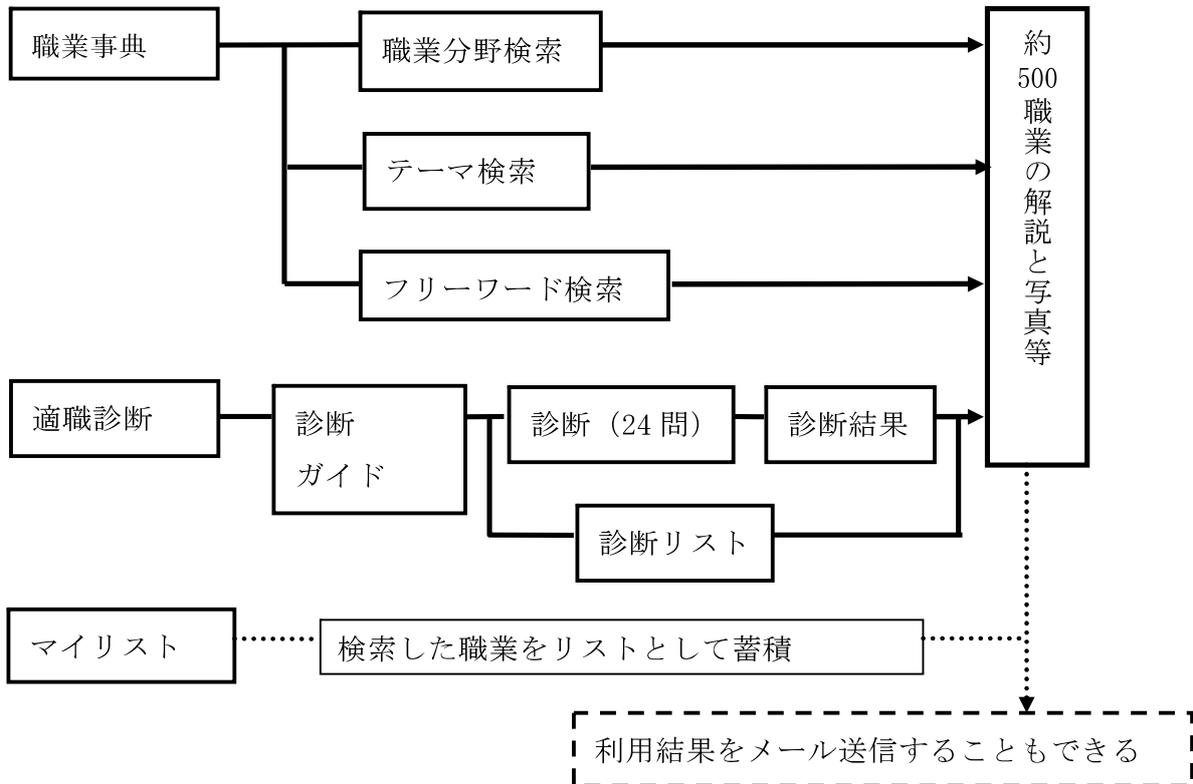
適職診断では簡易な職業興味診断テストを行い、その結果から適職を調べることができる。

マイリストにはサイトにアクセスしてから見た職業が自動的にリストとして蓄積されるようになっており、その一覧を見ることができる。また、この一覧は任意のメールアドレスに送信することができ、自分の記録とすることができることからマイリストをPCに送信することにより、携帯版サイトに引き続きPC版サイトを利用することを可能とした。

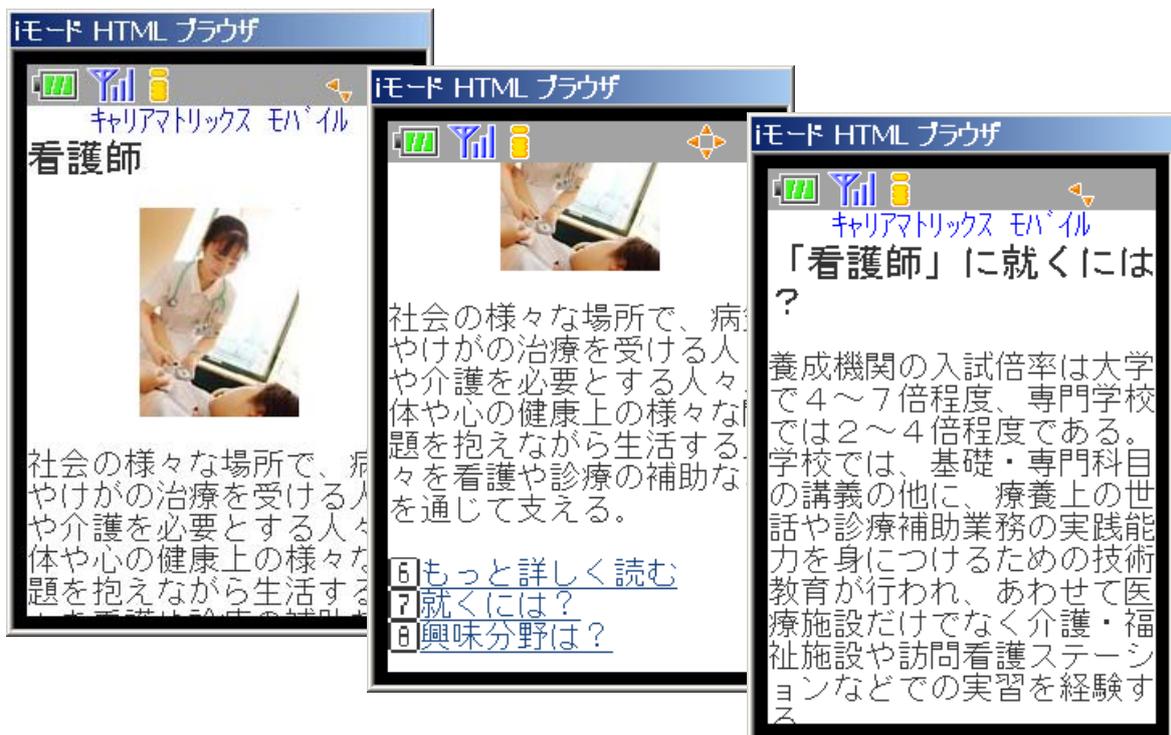
図表 5-18 に検索された「看護師」の職業情報画面の一部を掲載している。

¹⁰ キャリモバ.jpへの提供も、2011年3月末で終了する。

図表 5-17 システム構成図（主要部分）



図表 5-18 職業情報画面例（看護師）



2) システム動作環境

システムの開発言語は PHP、データベースは MySQL である（詳細は以下）。システムのオペレーティングシステムとしては Windows2003ServerR2 と CentOS5.3 を用いた。また、各キャリアの各種携帯電話に自動的に対応できるよう PureAXIS を用いた。

PHP	開発時点の仕様上は 4.0 以降	サイトでは 5.0.4 を使用
MySQL	開発時点の仕様上は 5.0 系列	サイトでは 5.1 を使用
PureAXIS	Ver.3.9.5	(v395.20080307)

3) システム開発方針

携帯電話端末向けサイトであることから、開発にあたっては下記の方針に従ったところ、モニターテスト等で各社の第三世代携帯で使用してもまったく問題は生じなかった。なお、第二世代までの携帯電話に関しては、後述するようにコンテンツ自動変換システムにより対応することとした。

- 職業情報は可能な範囲で短い文章とすること。職業情報の写真も容量を可能な限り小さくすること。
- 若年者が一人で使えるよう、分かりやすい使い方、煩瑣でない使い方とすること。
- 携帯電話の無駄なパケットを使用することがないように、背景画像や画像のアイコン、ボタン等、不要な画像ファイル等を用いないこと。
- プログラミングでは機種に依存しない、基本的な機能のみを用いること。

(2) 情報コンテンツ

職業情報としては図表 5-18 に示したように、最初に職業の概要と写真が提示され、その後に「もっと詳しく読む」、「就くには?」、「興味分野は?」が示される。

職業情報は基本的に PC 版のキャリアマトリックスを元に情報を短縮したものである。「もっと詳しく読む」の職業情報は凡そ 50 から 150 文字、「就くには?」は 70 から 190 文字としており、PC 版キャリアマトリックスのサイトと比較すると大幅に短縮した。職業名は PC 版のキャリアマトリックスと同様であり、収録数も PC 版と同じく約 500 職業とした。

(3) 機構運用サイトと公開サイトとの関係

キャリアモバ.jp は、厚生労働省が運用するサイトであり、労働政策研究・研修機構は、職業情報を提供するという関係にある。このため当機構で運用サイトを設置して最新の職業情報を掲載し、そこから厚生労働省の公開サーバが情報を取得する形で一般公開用サイトが運営された。

当機構の運用サイトのアドレスは、次のとおりである。

<http://m.vrsys.net>

<http://p.vrsys.net>

このサイトにアクセスしたトップ画面を図表 5-19 に示した。図表は PC により携帯電話端末をシミュレートするソフトウェアによる。機構運用サイトはいわゆる携帯各社の第 3 世代携帯以降であれば、基本的に問題なく利用できる仕様で作成している。アドレスの上のものはこのシステムをそのまま変換等を行わず提供しているものである。下の方のアドレスは携帯電話端末用の自動変換システム PureAXIS を用いて、接続される携帯電話に応じて自動変換したものを提供している。機構運用サイトはアドレス等を公開していなため一般からのアクセスはないが、公開する前に修正したプログラムや情報内容を様々な機種で確認するため、このサイトを運用し機種に合わせた自動変換を行っているものである。

図表 5-19 サイトトップ画面

